# 「(仮称)熊取町こども計画」 策定のためのニーズ調査

# 報告書

熊取町

令和6年3月

# □■目次■□

## アンケート結果

調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
(1)就学前児童のいる世帯	
(2) 小学生のいる世帯	
3. 報告書のみかた	
O. TUI = V/V/78 /C	0
<b>公共会に在のいて出世の知本社田</b>	4
就学前児童のいる世帯の調査結果	
お住まいの地域について	
(1)居住小学校区	
お子さんとご家族の状況について	
(2)お子さんの年齢	
(3)お子さんの人数	
(3-1) 末子の年齢	
(4)回答者とお子さんの関係	
(5)回答者の配偶関係	
(6) お子さんの子育てを主に行っている方	
こどもの育ちをめぐる環境について	
(7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	
(8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無	
保護者の就労状況について	
(9)母親の就労状況	
(9-1)母親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労	
(9-2) フルタイムへの転換希望	
(10) 父親の就労状況	
(10-1) 父親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労	
(10-2) フルタイムへの転換希望	
平日、定期的に利用している施設やサービスについて	
(11) お子さんが現在利用している施設等	
(11-1) 施設等を利用していない理由	
(12) こども誰でも通園制度(仮称)の利用意向	
(13) 平日「定期的」に利用したい施設等	
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園、	
保育所や認定こども園等の利用希望について	
(14) 土曜日の「定期的」な幼稚園等の利用希望	
(14-1) 日曜・祝日の「定期的」な幼稚園等の利用希望	
(15) 長期休暇期間中の「定期的」な幼稚園等の利用希望	
病気の際の対応について	
(16) 子どもが病気やけがをした際の対処方法	
(16-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向	27
不定期の幼稚園、保育所や認定こども園等の	
利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	
(17)「不定期」に利用しているサービスの有無	
(17-1)サービスを利用していない理由	
(18) こどもを泊りがけで預ける必要性の有無	30

/]	N学校就学後の放課後の過ごし方について	31
	(19) 放課後過ごさせたい場所	31
	(19-1) 休日における学童保育所の利用希望	33
晢	育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について	34
	(20) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況	34
	(20-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由	
	(20-2) 育児休業取得後の職場復帰	
	(20-3) 職場復帰のタイミング	
	(20-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか	
	(21) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況	
	(21-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由	
	(21-2) 育児休業取得後の職場復帰	
	(21-3) 職場復帰のタイミング	
	(21-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか	
=	子育ての悩みや喜びなどについて	
-	(22) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること	
	(23) 子育でに関じて口帯悩んでいること 就になること	
	(24) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの	
	(25) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか	
台	表取町の子育で施策全般について	
Д		
	(26) 熊取町での子育てで感じること	
	(27)「子どもの権利に関する条例」の認知度	
	(28) 熊取町の子育て環境や支援への満足度	
	(29) 子育ての環境や支援に関するご意見	
小学	4生のいる世帯の調査結果	54
Ŧ	6住まいの地域について	54
Ŧ	S住まいの地域について	
	(1)居住小学校区	54
	(1)居住小学校区 3子さんとご家族の状況について	54 55
	(1)居住小学校区 3子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年	
	(1)居住小学校区 3子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数	54 
	(1)居住小学校区6子さんとご家族の状況について(2)お子さんの学年(3)お子さんの人数(3-1)末子の年齢	54 
	<ul><li>(1)居住小学校区.</li><li>3子さんとご家族の状況について.</li><li>(2)お子さんの学年.</li><li>(3)お子さんの人数.</li><li>(3-1)末子の年齢.</li><li>(4)回答者とお子さんの関係.</li></ul>	54 
	(1)居住小学校区6子さんとご家族の状況について(2)お子さんの学年(3)お子さんの人数(3-1)末子の年齢(4)回答者とお子さんの関係(5)回答者の配偶関係	54 
ŧ	<ul> <li>(1)居住小学校区.</li> <li>お子さんとご家族の状況について.</li> <li>(2)お子さんの学年.</li> <li>(3)お子さんの人数.</li> <li>(3-1)末子の年齢.</li> <li>(4)回答者とお子さんの関係.</li> <li>(5)回答者の配偶関係.</li> <li>(6)お子さんの子育てを主に行っている方.</li> </ul>	54 
ŧ	(1)居住小学校区 6子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方	54 
ŧ	(1)居住小学校区 S子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 どもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	54 55 55 55 56 56 57 57 57
ţ.	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 ごどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無	54 
ţ.	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの学年 (3ー1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 どもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 採護者の就労状況について	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 58
ţ.	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 どもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 保護者の就労状況について (9)母親の就労状況	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 60
ţ.	(1)居住小学校区 (2)お子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 ごどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 (8)の就労状況について (9)母親の就労状況 (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 59 60 60
ţ.	(1)居住小学校区. S子さんとご家族の状況について. (2)お子さんの学年. (3)お子さんの学年. (3)お子さんの人数. (3-1)末子の年齢. (4)回答者とお子さんの関係. (5)回答者の配偶関係. (6)お子さんの子育てを主に行っている方. こどもの育ちをめぐる環境について. (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無. (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無. R護者の就労状況について. (9)母親の就労状況. (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労. (9-2)フルタイムへの転換希望.	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 58 60 60 61
ţ.	(1)居住小学校区. S子さんとご家族の状況について. (2)お子さんの学年. (3)お子さんの人数. (3-1)末子の年齢. (4)回答者とお子さんの関係. (5)回答者の配偶関係. (6)お子さんの子育てを主に行っている方. こどもの育ちをめぐる環境について. (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無. (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無. R護者の就労状況について. (9)母親の就労状況. (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労. (9-2)フルタイムへの転換希望. (10)父親の就労状況.	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 58 60 60 61
ţ.	(1)居住小学校区 S子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年 (3)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方  どもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無  採護者の就労状況について (9)母親の就労状況 (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (9-2)フルタイムへの転換希望 (10)父親の就労状況 (10-1)父親の就労け況と就労時間・通勤時間と休日の就労	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 59 60 60 61 64
t €	(1)居住小学校区. S子さんとご家族の状況について. (2) お子さんの学年. (3) お子さんの人数. (3-1)末子の年齢. (4) 回答者とお子さんの関係. (5) 回答者の配偶関係. (6) お子さんの子育てを主に行っている方. どもの育ちをめぐる環境について. (7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無. (8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無. R護者の就労状況について. (9) 母親の就労状況. (9-1) 母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労. (9-2) フルタイムへの転換希望. (10) 父親の就労状況. (10-1) 父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労. (10-2) フルタイムへの転換希望.	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 58 60 60 61 64 64 65
t €	(1)居住小学校区 (2)お子さんとご家族の状況について (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 とどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無  *護者の就労状況について (9)母親の就労状況 (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (9-2)フルタイムへの転換希望 (10)父親の就労状況 (10-1)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (10-2)フルタイムへの転換希望 (10-2)フルタイムへの転換希望	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 59 60 60 61 64 64 65
t €	(1)居住小学校区. S子さんとご家族の状況について. (2)お子さんの学年. (3)お子さんの人数. (3-1)末子の年齢. (4)回答者とお子さんの関係. (5)回答者の配偶関係. (6)お子さんの子育てを主に行っている方. こどもの育ちをめぐる環境について. (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無. (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無. 経護者の就労状況について. (9)母親の就労状況. (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労. (9-2)フルタイムへの転換希望. (10)父親の就労状況. (10-1)父親の就労状況. (10-2)フルタイムへの転換希望. (110)子説の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労. (110-2)フルタイムへの転換希望. (110)子どもが病気やけがをした際の対処方法.	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 58 60 60 61 64 64 65 68
t €	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 こどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 R護者の就労状況について (9)母親の就労状況 (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (9-2)フルタイムへの転換希望 (10)父親の就労状況 (10-1)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (10-2)フルタイムへの転換希望 (10-2)フルタイムへの転換希望 (11)子どもが病気やけがをした際の対処方法 (11)子どもが病気やけがをした際の対処方法 (11-1)子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 58 60 60 61 64 64 64 65 68
<i>t</i>	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 とどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 (2) 母親の就労状況 (9)母親の就労状況 (9)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (9-2)フルタイムへの転換希望 (10)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (10-1)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (110-2)フルタイムへの転換希望 (110-2)フルタイムへの転換希望 (111)子どもが病気やけがをした際の対処方法 (111-1)子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向 (12)子どもを泊りがけで預ける必要性の有無	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 59 60 60 61 64 64 65 65 70
<i>t</i>	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 こどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 R護者の就労状況について (9)母親の就労状況 (9-1)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (9-2)フルタイムへの転換希望 (10)父親の就労状況 (10-1)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (10-2)フルタイムへの転換希望 (10-2)フルタイムへの転換希望 (11)子どもが病気やけがをした際の対処方法 (11)子どもが病気やけがをした際の対処方法 (11-1)子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 59 60 60 61 64 64 65 65 70
<i>t</i>	(1)居住小学校区 (2)お子さんの学年 (3)お子さんの人数 (3-1)末子の年齢 (4)回答者とお子さんの関係 (5)回答者の配偶関係 (6)お子さんの子育てを主に行っている方 とどもの育ちをめぐる環境について (7)日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 (8)こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無 (2) 母親の就労状況 (9)母親の就労状況 (9)母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (9-2)フルタイムへの転換希望 (10)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (10-1)父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労 (110-2)フルタイムへの転換希望 (110-2)フルタイムへの転換希望 (111)子どもが病気やけがをした際の対処方法 (111-1)子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向 (12)子どもを泊りがけで預ける必要性の有無	54 55 55 55 56 56 57 57 58 58 60 60 61 64 64 65 65 68 70 71

首	f児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について	74
	(14) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況	74
	(14-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由	75
	(14-2) 育児休業取得後の職場復帰	
	(14-3)職場復帰のタイミング	
	(15) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況	78
	(15-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由	79
	(15-2) 育児休業取得後の職場復帰	80
	(15-3) 職場復帰のタイミング	81
7	<sup>2</sup> 育ての悩みや喜びなどについて	82
	(16) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること	82
	(17) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと	84
	(18) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの	85
	(19) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか	86
貟	<b>長取町の子育て施策全般について</b>	89
	(20) 熊取町での子育てで感じること	89
	(21)「子どもの権利に関する条例」の認知度	
	(22) 熊取町の子育て環境や支援への満足度	90
	(23) 子育ての環境や支援に関するご意見	91
自由	意見まとめ	
1.	就学前児童のいる世帯の調査結果	94
	(1)子育て環境や支援に関するご意見(回答数 150件)	94
2.	小学生のいる世帯の調査結果	97
	(1)子育て環境や支援に関するご意見(回答数 126件)	97

# アンケート結果

#### 調査の概要

#### 1. 調査の目的

「(仮称)熊取町こども計画(令和7~11年度)」の策定を進めるにあたり、本町のこども・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望、子育て中の皆さまの現状やご意見などを計画に反映させるためにアンケート調査を実施しました。

#### 2. 調査の方法

(1) 就学前児童のいる世帯

〇調査対象: 熊取町在住の就学前児童の保護者

〇調査期間:令和6年2月19日~令和6年3月12日

〇調査方法:郵送配布、WEB回答

〇配布・回収:

配布数	回収数	回収率	有効回答数
1,000 票	461 票	46. 1%	388 票

(住民基本台帳からの無作為抽出)

#### (2) 小学生のいる世帯

〇調査対象: 熊取町在住の小学生の保護者

〇調査期間:令和6年2月19日~令和6年3月12日

〇調査方法:郵送配布、WEB回答

〇配布・回収:

ſ	配布数	回収数	回収率	有効回答数
Ī	1,000 票	408 票	40. 8%	350 票

(住民基本台帳からの無作為抽出)

#### 3. 報告書のみかた

- この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。
- ○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- ○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 〇百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- ○設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が 全体より少なくなる場合があります。

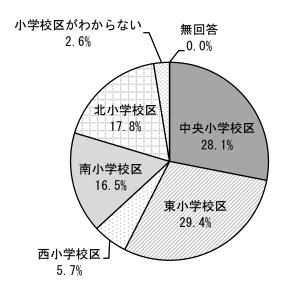
# 就学前児童のいる世帯の調査結果

## お住まいの地域について

#### (1)居住小学校区

#### 問1 お住まいの小学校区をお答えください。(当てはまるもの1つにO)

居住の小学校区は、「東小学校区」が 29.4%と最も多く、次いで「中央小学校区」が 28.1%、「北小学校区」が 17.8%となっています。

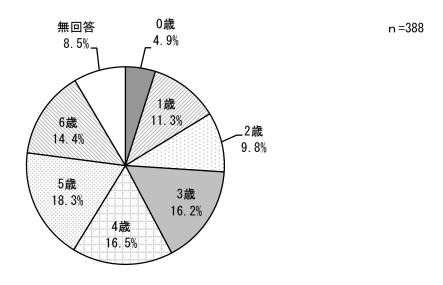


# お子さんとご家族の状況について

#### (2) お子さんの年齢

#### 問2 お子さんの生年月をお答えください。

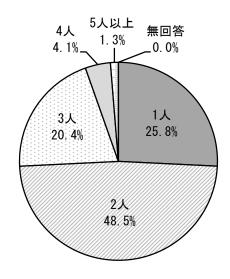
こどもの年齢は、「5歳」が18.3%と最も多く、次いで「4歳」が16.5%、「3歳」が16.2%となっています。



#### (3) お子さんの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいの数(宛名のお子さんを含めた人数)をお答えください。(当てはまるもの1つに〇)

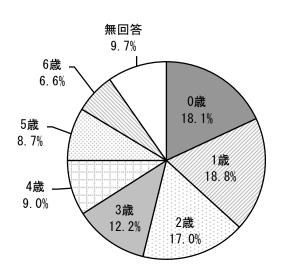
こどものきょうだいの人数は、「2人」が 48.5%と最も多く、次いで「1人」が 25.8%、「3人」が 20.4%となっています。



#### (3-1) 末子の年齢

問3-1 問3で「2~5」を選んだ方にうかがいます。 2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の生年月をお答えください。

末子の年齢は、「1歳」が18.8%と最も多く、次いで「0歳」が18.1%、「2歳」が17.0%となっています。

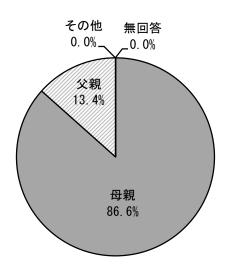


n =288

#### (4)回答者とお子さんの関係

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(当てはまるもの1つに〇)

回答者は、「母親」が86.6%と最も多く、次いで「父親」が13.4%となっています。

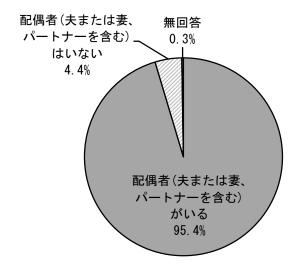


n=388

#### (5) 回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(当てはまるもの1つにO)

回答者の配偶関係は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)がいる」が 95.4%、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)はいない」が 4.4%となっています。

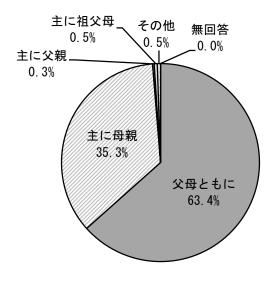


n = 388

#### (6) お子さんの子育てを主に行っている方

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(当てはまるもの1つに〇)

子育て(教育を含む)を主に行っている方は、「父母ともに」が 63.4%と最も多く、次いで「主に母親」が 35.3%となっています。



n =388

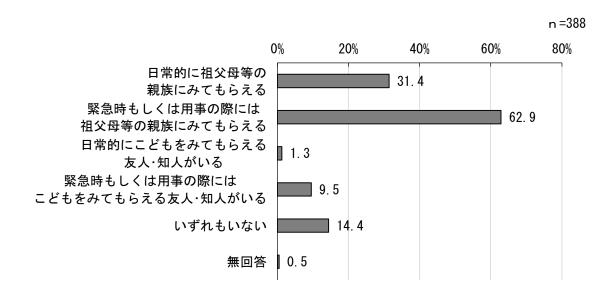
- 〇土日は父親も参加
- ○父親が単身赴任中のため

## こどもの育ちをめぐる環境について

#### (7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

#### 問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてにO)

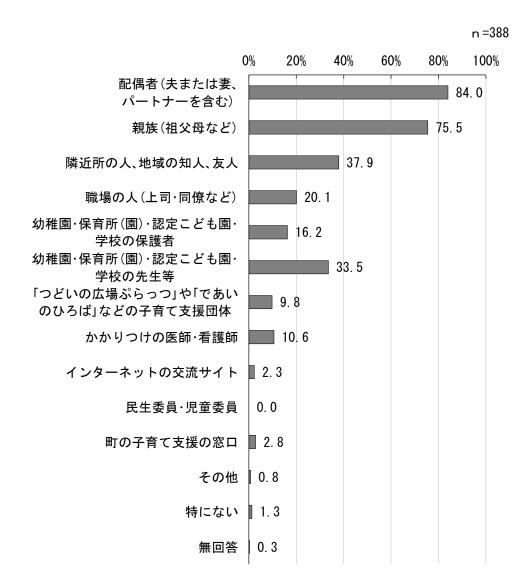
日頃、こどもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 62.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 31.4%となっており、「いずれもいない」は 14.4%となっています。



#### (8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無

問8 こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰(どこ)ですか。(当てはまるものすべてにO)

こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)」が 84.0%と最も多く、次いで「親族(祖父母など)」が 75.5%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が 37.9%となっています。



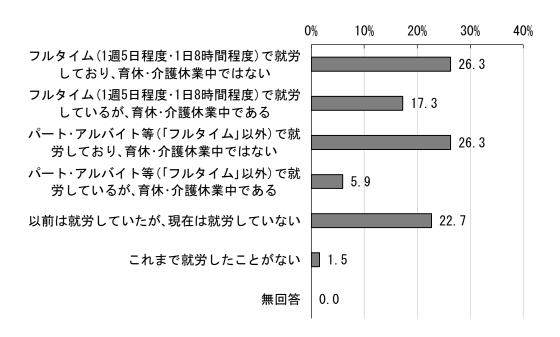
【その他】 姉/担当保健師

# 保護者の就労状況について

#### (9) 母親の就労状況

問9 お子さんの母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)について、うかがいます。 (父子家庭の場合は回答不要です)(当てはまるもの1つに〇)

母親の現在の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」がそれぞれ26.3%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.7%となっています。



#### (9-1) 母親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労

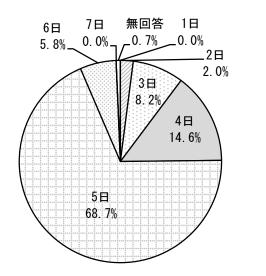
- 問9-1 問9で「1~4」を選んだ方にうかがいます。
  - 1週あたりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、就労開始時刻と 就労終了時刻をお答えください。(()内に数字を記入)また、土曜日、日曜日・祝日 の就労がありますか。(当てはまるもの1つに〇)
  - ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

n = 294

- ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ※時間は、必ず(例) 18:00 のように、24 時間制でお答えください。

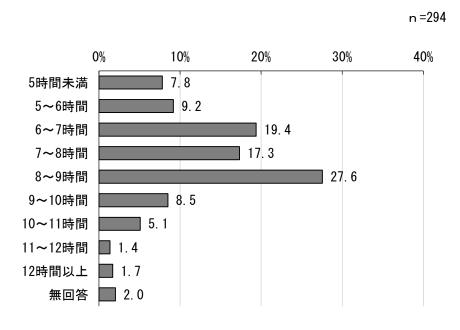
#### 【母親の1週当たりの就労日数】

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が68.7%と最も多く、次いで「4日」が14.6%、「3日」が8.2%となっています。



#### 【母親の1日当たりの就労時間】

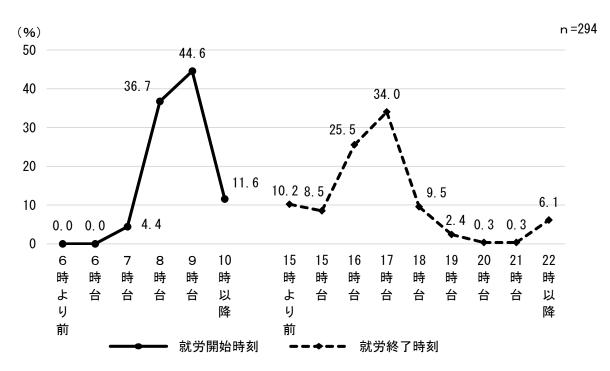
母親の1日当たりの就労時間は、「8~9時間」が27.6%と最も多く、次いで「6~7時間」が19.4%、「7~8時間」が17.3%となっています。



#### 【母親の就労開始時刻と就労終了時刻】

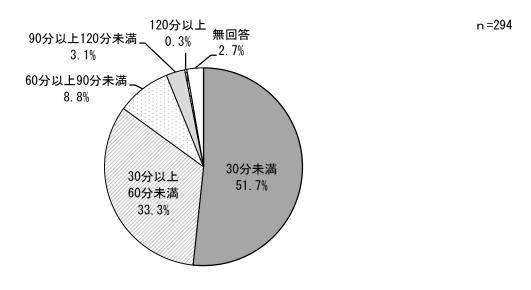
母親の就労開始時刻は、「9時台」が44.6%と最も多く、次いで「8時台」が36.7%、「10時以降」が11.6%となっています。

母親の就労終了時刻は、「17時台」が34.0%と最も多く、次いで「16時台」が25.5%、「15時より前」が10.2%となっています。



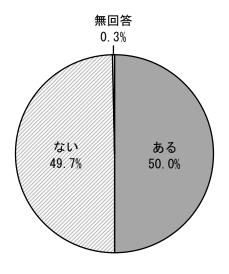
#### 【母親の通勤時間】

母親の通勤時間は、「30 分未満」が 51.7% と最も多く、次いで「30 分以上 60 分未満」が 33.3%、「60 分以上 90 分未満」が 8.8% となっています。



#### 【母親の土曜日の就労】

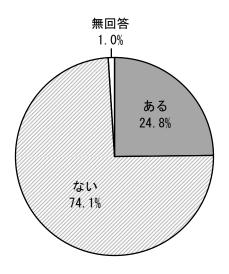
母親の土曜日の就労は、「ある」が50.0%、「ない」が49.7%となっています。



n = 294

#### 【母親の日曜・祝日の就労】

母親の日曜・祝日の就労は、「ある」が24.8%、「ない」が74.1%となっています。

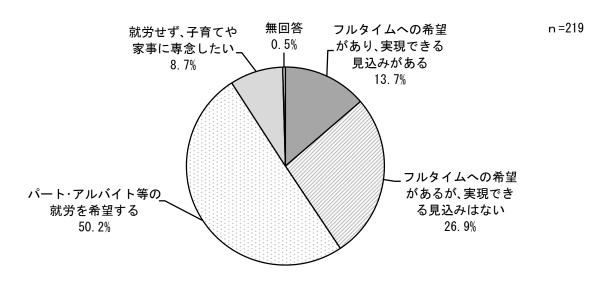


n=294

#### (9-2) フルタイムへの転換希望

問9-2 問9で「3~6」を選んだ方にうかがいます。 今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの1つに〇)

フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を希望する」が 50.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が 26.9%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が 13.7%となっています。



#### (10) 父親の就労状況

問 10 お子さんの父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)について、うかがいま す。(母子家庭の場合は回答不要です)(当てはまるもの1つに〇)

父親の現在の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない」が91.5%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である」が2.3%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がそれぞれ0.5%となっています。

n = 388

100%

91.5

20% 60% 80% 0% 40% フルタイム(1调5日程度・1日8時間程度)で 就労しており、育休・介護休業中ではない フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で 2.3 就労しているが、育休・介護休業中である パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で 0.5 就労しており、育休・介護休業中ではない パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で 0.0 就労しているが、育休・介護休業中である 以前は就労していたが、現在は就労していない 0.5 これまで就労したことがない 0.0 無回答 5. 2

#### (10-1) 父親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労

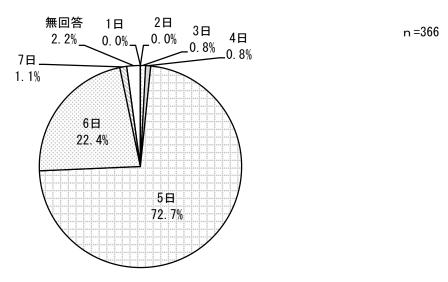
#### 問 10-1 問 10 で「1~4」を選んだ方にうかがいます。

1週あたりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、就労開始時刻と 就労終了時刻をお答えください。(() 内に数字を記入)また、土曜日、日曜日・祝日 の就労がありますか。(当てはまるもの1つに〇)

- ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
- ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ※時間は、必ず(例) 18:00 のように、24 時間制でお答えください。

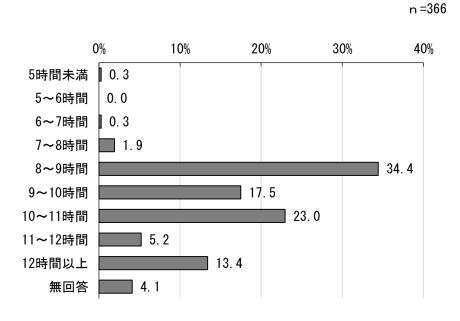
#### 【父親の1週当たりの就労日数】

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が72.7%と最も多く、次いで「6日」が22.4%、「7日」が1.1%となっています。



#### 【父親の1日当たりの就労時間】

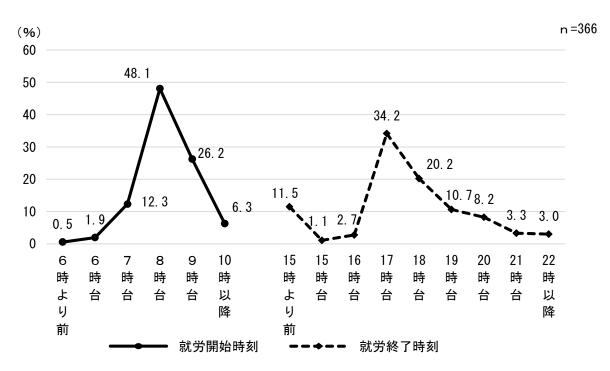
父親の1日当たりの就労時間は、「8~9時間」が34.4%と最も多く、次いで「10~11時間」が23.0%、「9~10時間」が17.5%となっています。



#### 【父親の就労開始時刻と就労終了時刻】

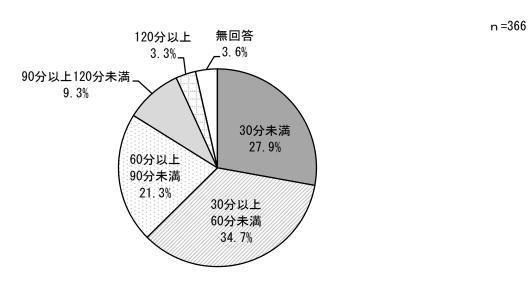
父親の就労開始時刻は、「8時台」が48.1%と最も多く、次いで「9時台」が26.2%、「7時台」が12.3%となっています。

父親の就労終了時刻は、「17時台」が34.2%と最も多く、次いで「18時台」が20.2%、「15時より前」が11.5%となっています。



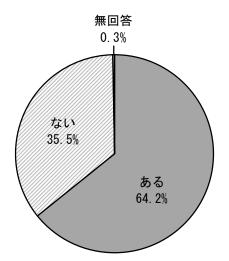
#### 【父親の通勤時間】

父親の通勤時間は、「30分以上60分未満」が34.7%と最も多く、次いで、「30分未満」が27.9%、「60分以上90分未満」が21.3%となっています。



#### 【父親の土曜日の就労】

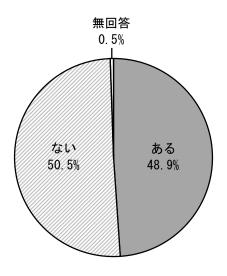
父親の土曜日の就労は、「ある」が64.2%、「ない」が35.5%となっています。



n = 366

#### 【父親の日曜・祝日の就労】

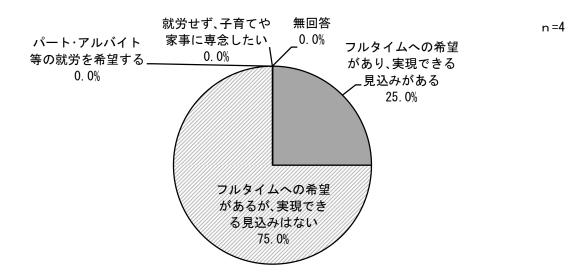
父親の日曜・祝日の就労は、「ある」が48.9%、「ない」が50.5%となっています。



#### (10-2) フルタイムへの転換希望

問 10-2 問 10 で「3~6」を選んだ方にうかがいます。 今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの 1 つに〇)

フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が75.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が25.0%となっています。

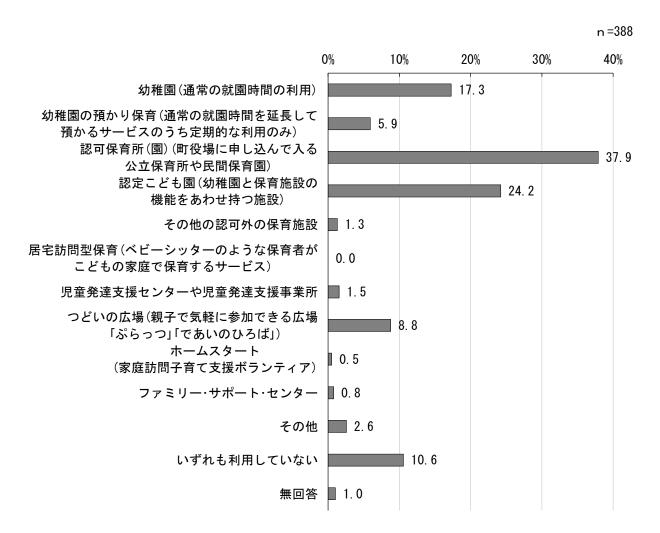


#### 平日、定期的に利用している施設やサービスについて

#### (11) お子さんが現在利用している施設等

問 11 宛名のお子さんは、現在以下の施設やサービスを利用していますか。(当てはまるものすべてにO)

利用している施設やサービスは、「認可保育所(園)(町役場に申し込んで入る公立保育所や民間保育園)」が 37.9%と最も多く、次いで「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設)」が 24.2%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が 17.3%となっています。



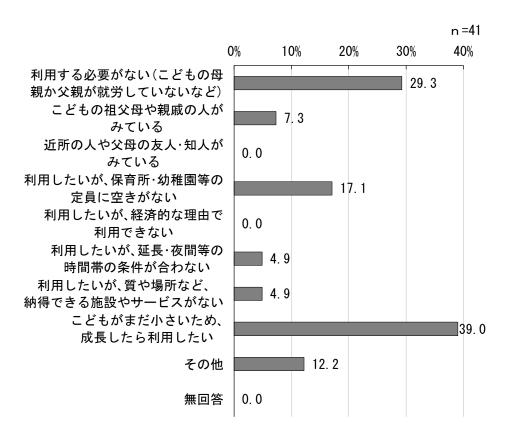
#### 【その他】

週1回の町の親子教室(すこやかる一む)/町立保育所/訪問看護/実家/職場託児所/すこやか 教室/もりのようちえん/利用したいが待機児童でできない/企業主導型保育園/4月から毎日通 園する。

#### (11-1) 施設等を利用していない理由

問 11-1 問 11 で「12」を選んだ方にうかがいます。 上記の施設やサービスを利用していない理由は何ですか。主な理由をお答えください。 (当てはまるものすべてにO)

施設やサービスを利用していない理由は、「こどもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が 39.0%と最も多く、次いで「利用する必要がない(こどもの母親か父親が就労していないなど)」が 29.3%、「利用したいが、保育所・幼稚園等の定員に空きがない」が 17.1%となっています。



- 〇お腹が弱いため、ノロや風邪の感染リスクを抑えるため
- 〇保育所に預けたいが、妻が就労しておらず保育の要件を満たしていないため
- ○自分で面倒みられるから

#### (12) こども誰でも通園制度(仮称)の利用意向

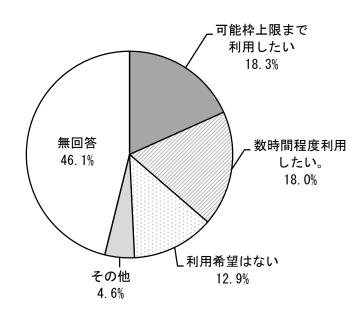
問12 6ヶ月~2歳の未就園児がいる方にお聞きします。

本町で、こども誰でも通園制度(仮称)が実施された場合、利用したいですか。(当てはまるもの1つにO)

※こども誰でも通園制度(仮称)とは、6ヶ月~2歳の未就園児を対象に、月10時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で利用できる新たな制度。(保護者負担は、こども1人あたり1時間300円程度が標準となる予定)

こども誰でも通園制度(仮称)が実施された場合の利用希望は、「可能枠上限まで利用したい」が 18.3%と最も多く、次いで「数時間程度利用したい」が 18.0%、「利用希望はない」が 12.9%となっています。



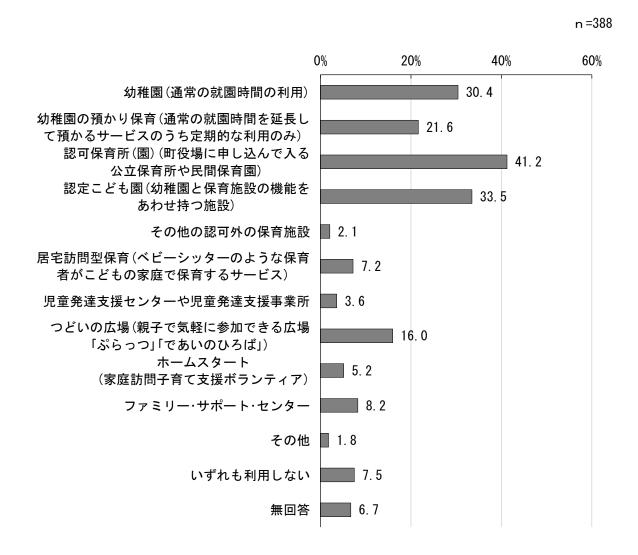


- 〇こども園に通園中。
- ○3人目なので関係ない
- 〇既にこども園に通っているので必要ない。逆にこども園の先生方への負担になるのでは?と感じる
- 〇保育園に通っていなければ、利用したいと思う
- 〇いまの保育園が継続できれば不要
- ○利用したいが場所次第、土日祝対応であれば利用したい。
- ○該当する未就園児がいない
- 〇検討中

#### (13) 平日「定期的」に利用したい施設等

問 13 現在利用している、していないにかかわらず、宛名のお子さんのために平日「定期的に」 利用したいと考える施設やサービスをお答えください。(当てはまるものすべてに〇)

平日「定期的」に利用したいと考える施設やサービスは、「認可保育所(園)(町役場に申し込んで入る公立保育所や民間保育園)」が41.2%と最も多く、次いで「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設)」が33.5%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が30.4%となっています。



#### 【その他】

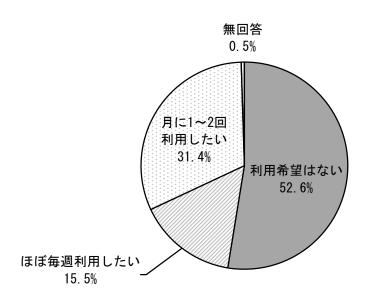
病児保育施設/休日ぷらっつのように利用できる施設があればいいと思う/土日祝対応の保育園

# 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等 の利用希望について

#### (14) 土曜日の「定期的」な幼稚園等の利用希望

問 14 宛名のお子さんについて、土曜日に「定期的な」幼稚園、保育所や認定こども園等の利用 希望はありますか。(当てはまるもの 1 つに〇)

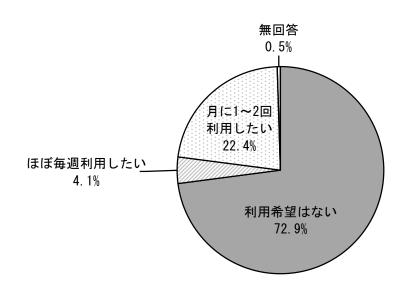
土曜日の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望は、「利用希望はない」が52.6%と最も多く、次いで「月に1~2回利用したい」が31.4%、「ほぼ毎週利用したい」が15.5%となっています。



#### (14-1) 日曜・祝日の「定期的」な幼稚園等の利用希望

問 14-1 宛名のお子さんについて、日曜・祝日に、「定期的な」幼稚園、保育所や認定こども園 等の利用希望はありますか。(当てはまるもの1つに〇)

日曜・祝日の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望は、「利用希望はない」が 72.9% と最も多く、次いで「月に 1  $\sim$  2 回利用したい」が 22.4%、「ほぼ毎週利用したい」が 4.1% となっています。

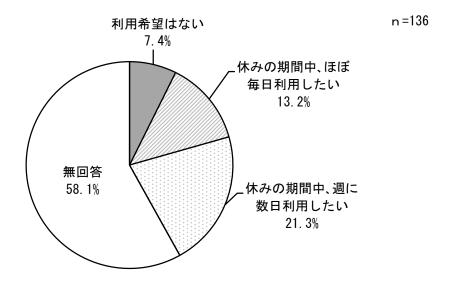


n = 388

#### (15) 長期休暇期間中の「定期的」な幼稚園等の利用希望

問 15 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の幼稚園の利用希望 はありますか。(当てはまるもの 1 つに〇)

長期の休暇期間中の幼稚園の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 21.3%と最も多く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 13.2%、「利用希望はない」が 7.4%となっています。



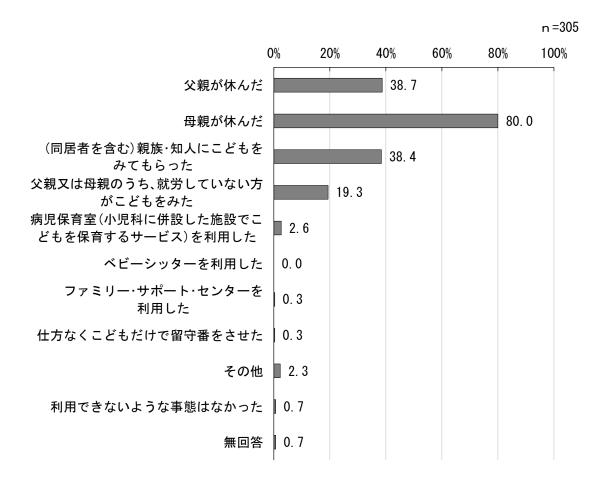
#### 病気の際の対応について

※平日に幼稚園、保育所や認定こども園等を利用する方のみ

#### (16) 子どもが病気やけがをした際の対処方法

問 16 問 11 で「1~6」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんが、病気やけがで通常の幼稚園、保育所や認定こども園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(当てはまるものすべてに〇)

こどもが病気やけがで通常の幼稚園、保育所や認定こども園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が80.0%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.7%、「(同居者を含む)親族・知人にこどもをみてもらった」が38.4%となっています。

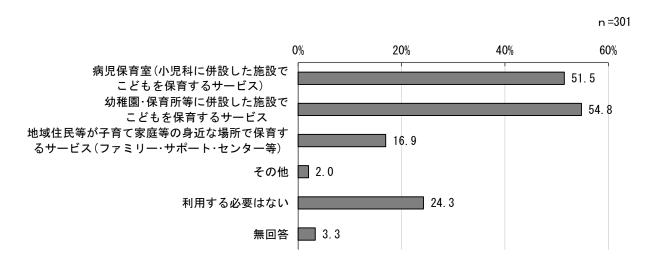


- 〇母子家庭なので、母親が休むしかない状況。
- ○育休中のため、すぐに母親が迎えに行けた
- ○父親がテレワークで対応
- 〇母親が育休中なので基本的には母親。母親も具合が悪い時などやむを得ない時には父親も休んだ
- ○自営なので自宅でみた
- 〇子供を連れて仕事した

#### (16-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向

問 16-1 問 16 で「1~9」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんが病気やけがの際、以下のいずれかのサービスを利用したいと思いま すか。(当てはまるものすべてに〇)

こどもが病気やけがをした際のサービスの利用意向は、「幼稚園・保育所等に併設した施設でこどもを保育するサービス」が 54.8%と最も多く、次いで「病児保育室(小児科に併設した施設でこどもを保育するサービス)」が 51.5%となっており、「利用する必要はない」は 24.3%となっています。



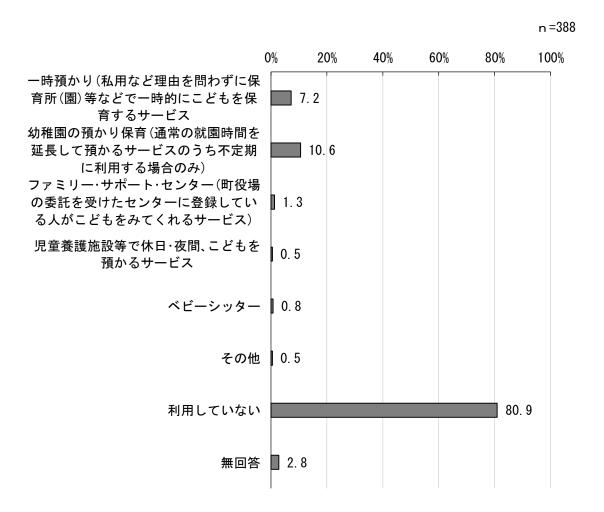
- ○気軽に仕事を休めるなら自分で見たい。病気の子をわざわざ他所に預ける必要はないが預けざる を得ない状況が切ないなと思う。
- ○すぐ使えない、別料金がかかるなど…使いたいと思いにくい
- 〇お金がきつい人は必ず必要だと思う
- 〇上記施設のことをあまり知らないので選べません。
- ○利用したいが費用が高い

# 不定期の幼稚園、保育所や認定こども園等の利用や宿泊を伴う一時預かり 等の利用について

#### (17) 「不定期」に利用しているサービスの有無

問 17 宛名のお子さんについて、日中の「定期的な」保育や、病気やけがでの利用以外に、私 用、不定期の就労等の目的で、「不定期に」利用しているサービスはありますか。(当て はまるものすべてに〇)

「不定期」に利用しているサービスは、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち不定期に利用する場合のみ)」が 10.6%と最も多く、次いで「一時預かり(私用など理由を問わずに保育所(園)等などで一時的にこどもを保育するサービス」が 7.2%となっており、「利用していない」は 80.9%となっています。

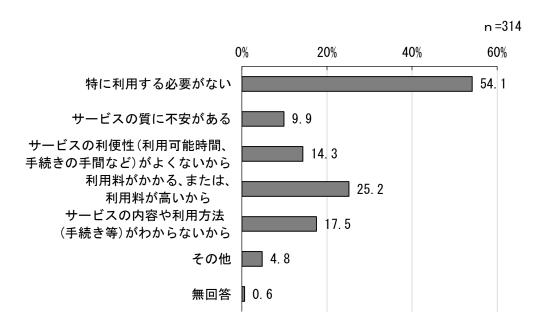


#### 【その他】 託児所/もりのようちえん

#### (17-1) サービスを利用していない理由

問 17-1 問 17 で「7」を選んだ方にうかがいます。 利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに〇)

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 54.1%と最も多く、次いで「利用料がかかる、または、利用料が高いから」が 25.2%、「サービスの内容や利用方法(手続き等)がわからないから」が 17.5%となっています。

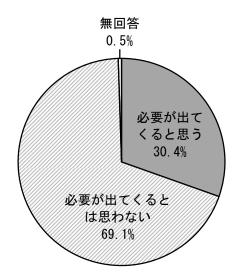


- ○ファミサポを利用したいが知らない人だと抵抗がある
- 〇息抜きに預けたい気持ちはあるが、インフルエンザ、コロナ等に感染するかもしれないと不安が あるため。
- 〇できるだけこどもと過ごす時間を大切にしたいと思っている
- ○祖父母に預かってもらえるため
- 〇利用したことがないからわからない
- 〇こどもが嫌がるから
- 〇わからない、そのようなものの存在を知らない
- 〇日中は仕事や家事をする時間、夕方以降はこどもと接する時間です。
- 〇仕事で遅くなる場合、現在通園している保育園の夜間保育を日常的に利用しているから
- ○こどもへの罪悪感

#### (18) こどもを泊りがけで預ける必要性の有無

問 18 今後、保護者の用事(冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預ける必要が出てくると思いますか。(当てはまるものすべてに〇)

こどもを泊りがけで家族以外に預ける必要性は、「必要が出てくると思う」が30.4%、「必要が出てくるとは思わない」が69.1%となっています。



# 小学校就学後の放課後の過ごし方について

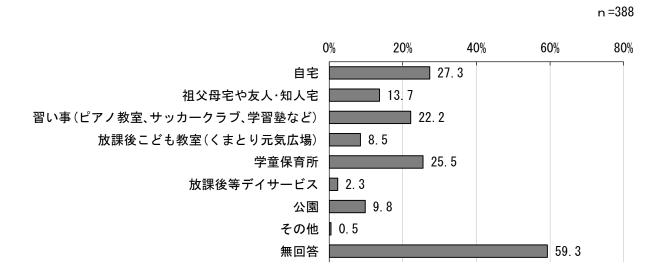
※宛名のお子さんが5歳以上である場合

# (19) 放課後過ごさせたい場所

問 19 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ご させたいですか。(低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものすべてに〇)

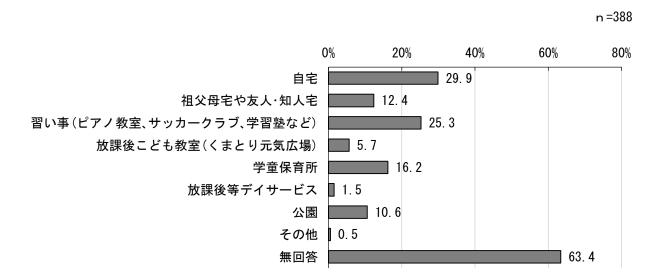
# 【1~3年生(低学年)】

放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が 27.3% と最も多く、次いで「学童保育所」が 25.5%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 22.2% となっています。



### 【4~6年生(高学年)】

放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が 29.9%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 25.3%、「学童保育所」が 16.2% となっています。



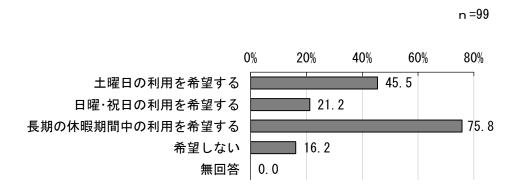
- ○万が一の時の場合、学童を利用したかったが断られた。放課後こども教室というのを今回のアンケートで知りました。あとで調べてみたいです。
- 〇学童、デイサービス、こども教室の違いがわからないが、預けて仕事できるならどこでもかまわない。

### (19-1) 休日における学童保育所の利用希望

問 19-1 問 19 で「5」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、学童保育所の 利用を希望しますか。(低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものに〇)

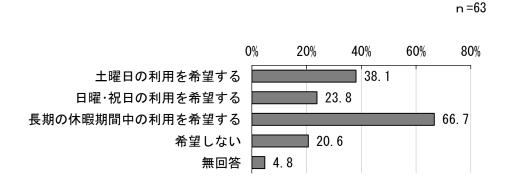
### 【1~3年生(低学年)】

土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望は、「長期の休暇期間中の利用を希望する」が 75.8%と最も多く、次いで「土曜日の利用を希望する」が 45.5%、「日曜・祝日の利用を希望する」が 21.2%となっています。



### 【4~6年生(高学年)】

土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望は、「長期の休暇期間中の利用を希望する」が66.7%と最も多く、次いで「土曜日の利用を希望する」が38.1%、「日曜・祝日の利用を希望する」が23.8%となっています。

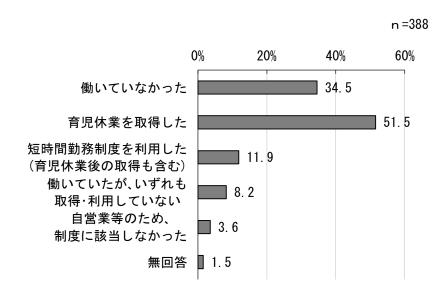


# 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について

# (20) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 20 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。 (当てはまるものすべてにO)

母親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「育児休業を取得した」が 51.5%と最も多く、次いで「働いていなかった」が 34.5%、「短時間勤務制度を利用した(育児休業後の取得も含む)」が 11.9%となっています。

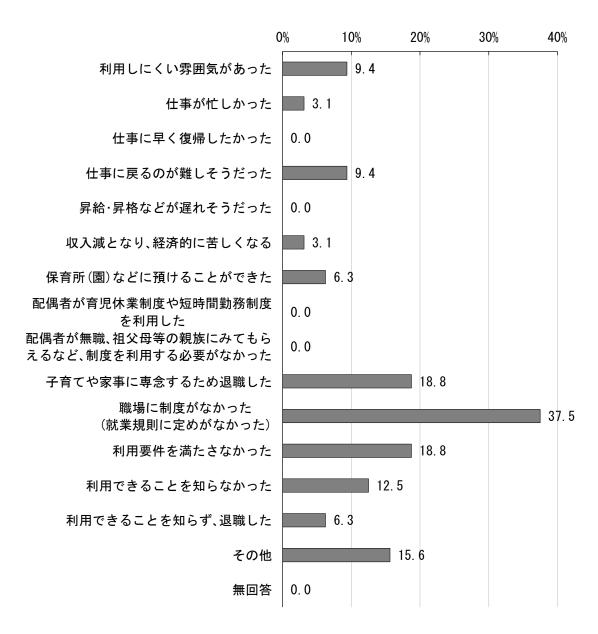


### (20-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 20-1 問 20 で「4」を選んだ方にうかがいます。 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものすべてに〇)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 37.5%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」、「利用要件を満たさなかった」がそれぞれ 18.8%となっています。

n = 32

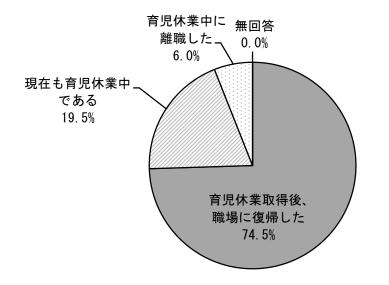


- 〇申し出たが断られ退職させられた
- ○実家が職場なので子供を見ながら働けた。
- ○退職をすすめられた
- ○在宅勤務にしてもらい出産当日まで仕事し、産後3ヶ月後から復職した。
- ○利用できたが、主人の実家近くに引っ越したため

# (20-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 20-2 問 20 で「2」を選んだ方にうかがいます。 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの 1 つに〇)

育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.5%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が19.5%、「育児休業中に離職した」が6.0%となっています。

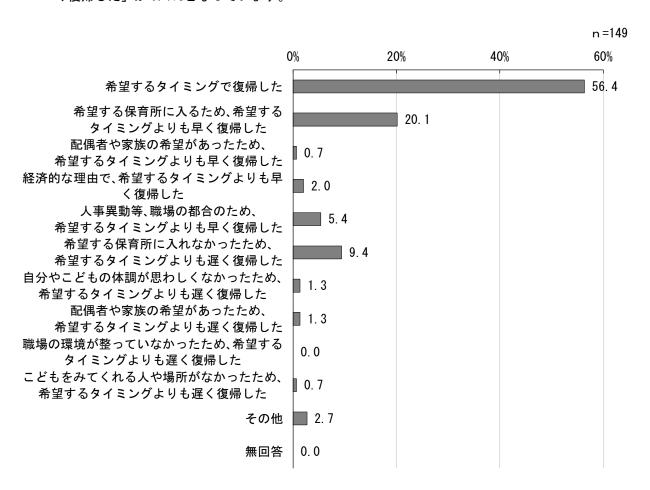


n = 200

# (20-3) 職場復帰のタイミング

問 20-3 問 20-2で「1」を選んだ方にうかがいます。 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つにO)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が56.4%と最も多く、次いで「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が20.1%、「希望する保育所に入れなかったため、希望するタイミングよりも遅く復帰した」が9.4%となっています。

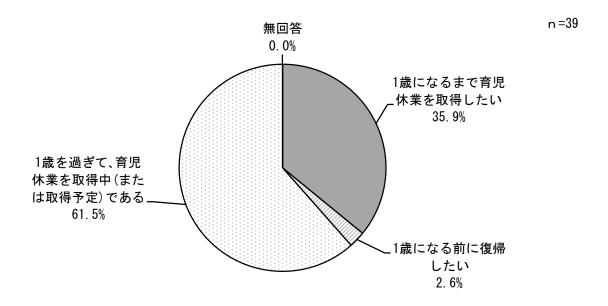


- ○離婚により、すぐに復帰せざるをえなかった。
- ○コロナ禍だったので、1年間休業を頂けました。
- 〇会社側から早めに復帰するよう伝えられており、早めに復帰した。交代で父が育休を取得し、1 歳までは家庭でみた。
- 〇コロナ禍でこども園で預かってもらえず希望のタイミングよりも遅く復帰した

# (20-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか

問 20-4 問 20-2で「2」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、 1 歳に なるまで育児休業を取得しますか。(当てはまるもの 1 つに〇)

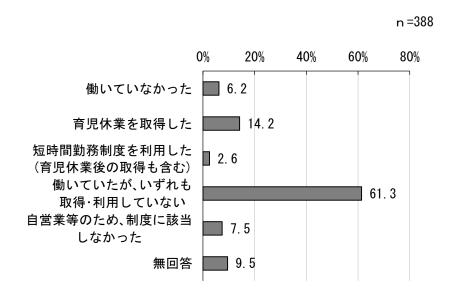
こどもが 1 歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、 1 歳になるまで育児休業を取得するかは、「1 歳を過ぎて、育児休業を取得中(または取得予定)である」が 61.5%と最も多く、次いで「1 歳になるまで育児休業を取得したい」が 35.9%、「1 歳になる前に復帰したい」が 2.6%となっています。



# (21) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 21 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。 (当てはまるものすべてにO)

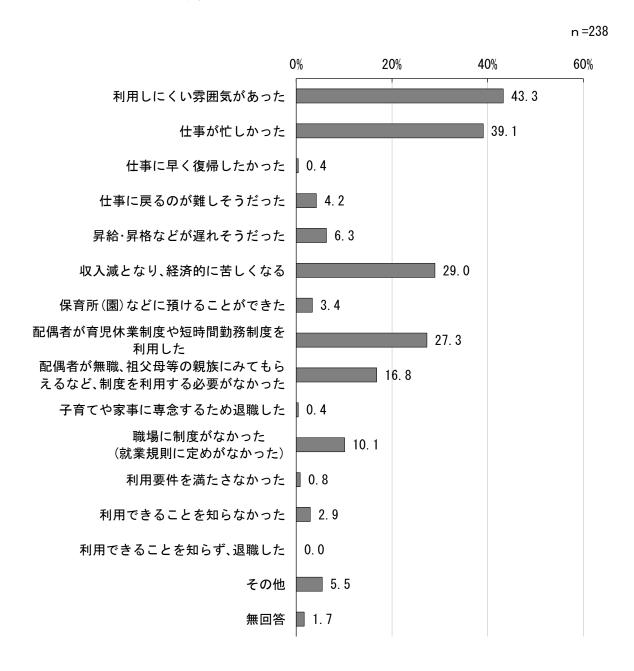
父親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が 61.3%と最も多く、次いで「育児休業を取得した」が 14.2%、「自営業等のため、制度に該当しなかった」が 7.5%となっています。



# (21-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 21-1 問 21 で「4」を選んだ方にうかがいます。 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものす べてに〇)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「利用しにくい雰囲気があった」が43.3%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が39.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が29.0%となっています。

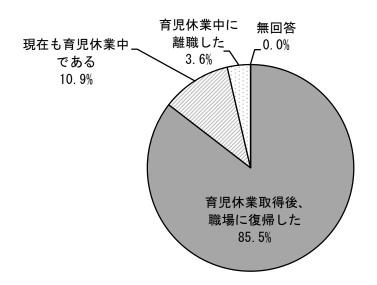


- ○妻が退職し面倒をみていた
- ○職場で前例がない、と言われた
- ○有給を使用した。
- 〇たまたま異動で早く帰れる環境にあった。退院日などの特休は利用した。
- 〇申請をしたが、取得するのであれば復帰後の待遇や今後の昇給に対して考えさせてもらうと圧力 がかかり、やむなく取得を断念した。
- ○取得する風土がない

# (21-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 21-2 問 21 で「2」を選んだ方にうかがいます。 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの 1 つに〇)

育児休業取得後、職場に復帰したかは、「育児休業取得後、職場に復帰した」が85.5%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が10.9%、「育児休業中に離職した」が3.6%となっています。

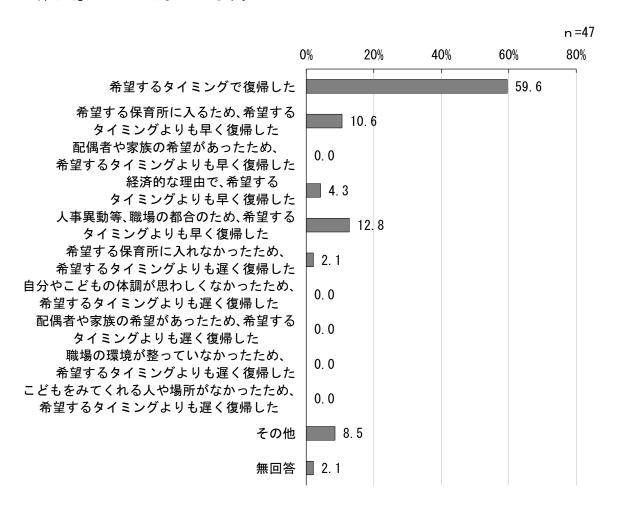


n = 55

### (21-3) 職場復帰のタイミング

問 21-3 問 21-2で「1」を選んだ方にうかがいます。 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つにO)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が59.6%と最も多く、次いで「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が12.8%、「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が10.6%となっています。

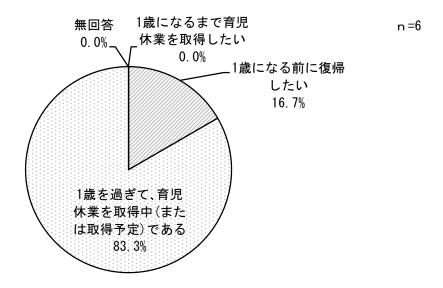


- ○2週間以上取れなかった
- ○長期の休みはもらえず、スポットで1日休むなど有給休暇と同じような取り方だった。
- ○規定の日数分休業し復帰した
- 〇そもそも2日間しか育休を取れなかったので復帰も何も、そのまま働いているのと同じ。有給を 取るのと同レベル。

# (21-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか

問 21-4 問 21-2で「2」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、 1 歳に なるまで育児休業を取得しますか。(当てはまるもの 1 つに〇)

こどもが 1 歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、 1 歳になるまで育児休業を取得するかは、「1 歳を過ぎて、育児休業を取得中(または取得予定)である」が 83.3%と最も多く、次いで「1 歳になる前に復帰したい」が 16.7%となっています。



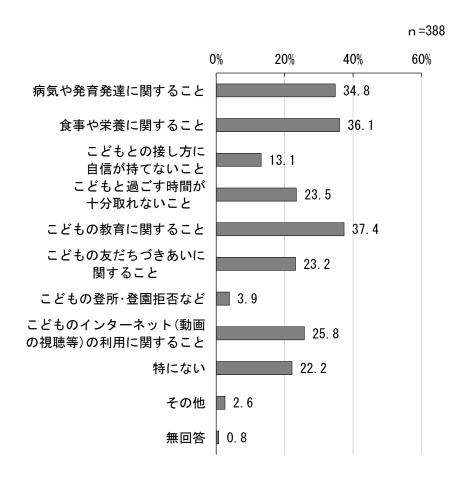
# 子育ての悩みや喜びなどについて

### (22) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること

問 22 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(当てはまるものすべてに〇)

### 【こどもに関すること】

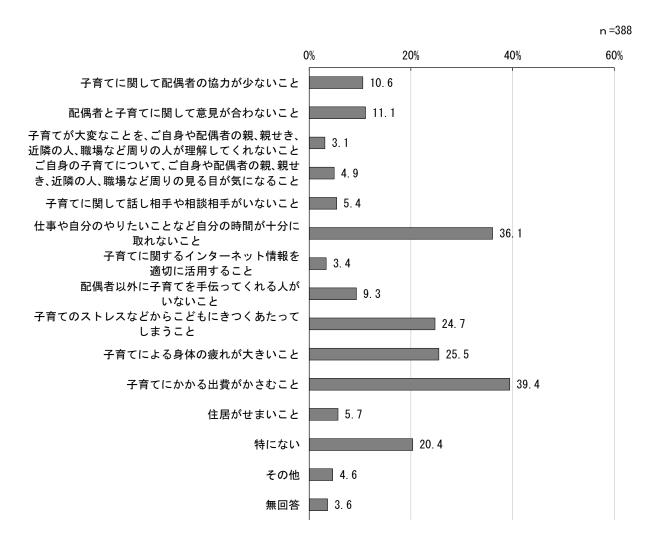
子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「こどもの教育に関すること」が 37.4%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が 36.1%、「病気や発育発達に関すること」が 34.8%となっており、「特にない」は 22.2%となっています。



- ○不定期の病児保育など、仕事が休めないときに預かってくれる施設を熊取町でも作ってほしいです。
- ○卒園すると預けられる場所がないため、下校が早い日は有給で何とかする予定ですが、預けられる場所があればなと悩んでいます。
- ○こどもが怒りっぽい、口が立つ。もう少し穏やかな性格になってほしい
- 〇仕事と育児の両立
- ○幼稚園プレでこどもが製作などをやりたがらず座っていられない。
- 〇保育所にも関わらず、発表会の振替日や3月31日に次の年度の準備はわかるが、平日に休みに されると仕事を休まないといけないので、預かってくれるところが欲しい。
- ○小学校までの通学路が入り組んでいたり、大通りだったり、この先が心配。
- 〇待機児童のため、いつ保育園に通えるか心配である。今後のこどもの学費のため、仕事を見つけて働きたい。

### 【ご自身に関すること】

子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 39.4%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が 36.1%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 25.5%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 24.7%となっており、「特にない」は 20.4%となっています。

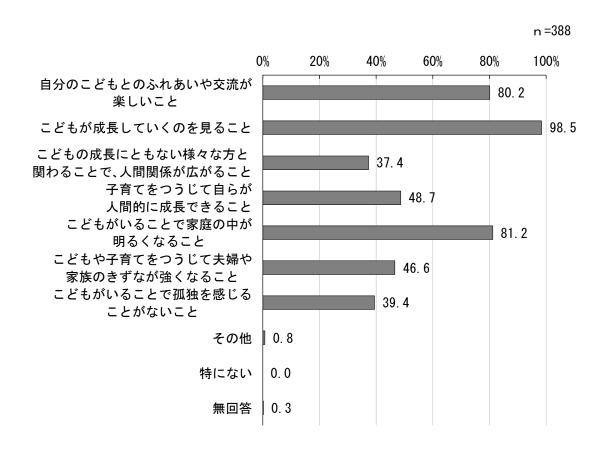


- 〇ひとり親なので全て1人でしなければならない
- 〇自身の特性と子育ての相性が悪すぎること。
- ○兄弟の仲が悪いこと
- 〇仕事と家庭の両立
- 〇今後仕事を探す際に、こどもがいても採用してもらえるか、両立できるか、自分の将来への不安
- ○育休中には上の子の学童保育が受けられないこと
- 〇こどもを見てくれる人がいない(いつでもいけるということではないため)
- ○寝かしつけや夜泣きで生活リズムが乱れていること
- 〇義母との同居でストレスがたまる
- 〇保育所への不満

# (23) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと

問 23 お子さんの子育てをしておられる中で、喜びを感じたことや良かったことはどのようなことですか。(当てはまるものすべてにO)

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことは、「こどもが成長していくのを見ること」が 98.5%と最も多く、次いで「こどもがいることで家庭の中が明るくなること」が 81.2%、「自分のこどもとのふれあいや交流が楽しいこと」が 80.2%となっています。

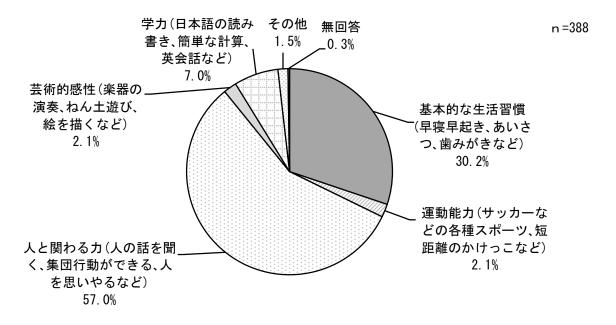


- 〇こどもがさまざまな物事に興味を持ち、一緒に楽しむようになりそれを通じて今まで出会ったことのない物事に触れ、見識が深まること。
- ○仕事の疲れもこどもの独特な表現や行動が面白く癒される。

# (24) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの

問 24 今、こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは何ですか。(当てはまるもの 1 つにO)

こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは、「人と関わる力(人の話を聞く、集団行動ができる、人を思いやるなど)」が57.0%と最も多く、次いで「基本的な生活習慣(早寝早起き、あいさつ、歯みがきなど)」が30.2%、「学力(日本語の読み書き、簡単な計算、英会話など)」が7.0%となっています。



### 【その他】

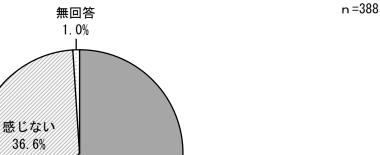
全て/体力/喜んだり楽しんだり笑ったりすること/自尊感情

# (25) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 25 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(当てはまるもの 1 つに〇) 感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支 えてほしいですか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入 してください。

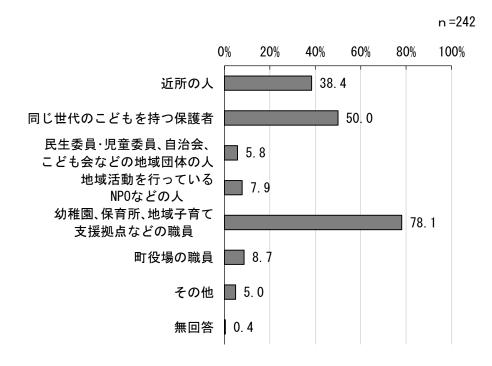
子育てが地域の人に支えられていると感じるかは、「感じる」が 62.4%、「感じない」が 36.6% となっています。

> 感じる 62.4%



### 【特に誰から支えられていると感じるか】

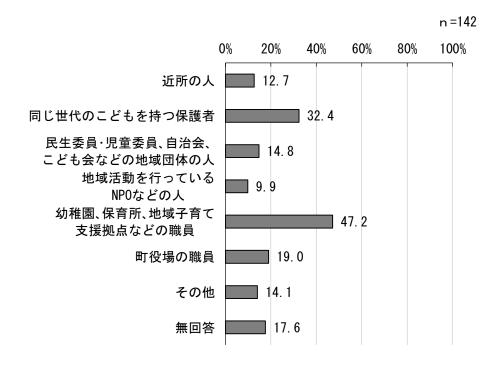
特に誰から支えられていると感じるかは、「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が 78.1%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 50.0%、「近所の人」が 38.4% となっています。



- 〇外出している時に道端で出会う年配の方々が声をかけてくれるのがとても励みになります。
- 〇優しい人
- 〇訪問看護師
- 〇アトム共同保育所
- 〇ファミリーサポートの方たち
- Oぷらっつ
- ○習い事に関連する方々
- 〇旦那とも、子育て広場
- ○ゆめの森があること
- 〇買い物などに行くと店員さんや他のお客さんからあたたかい声かけをしてもらえる。

### 【特に誰から支えてほしいか】

特に誰から支えてほしいかは、「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が 47.2% と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 32.4%、「町役場の職員」が 19.0%となっています。



- ○教育にお金をかけてもらえる自治体になってほしい
- 〇批判や負の感情を向けられなければ良い、必要としていない。
- 〇両親
- 〇旦那

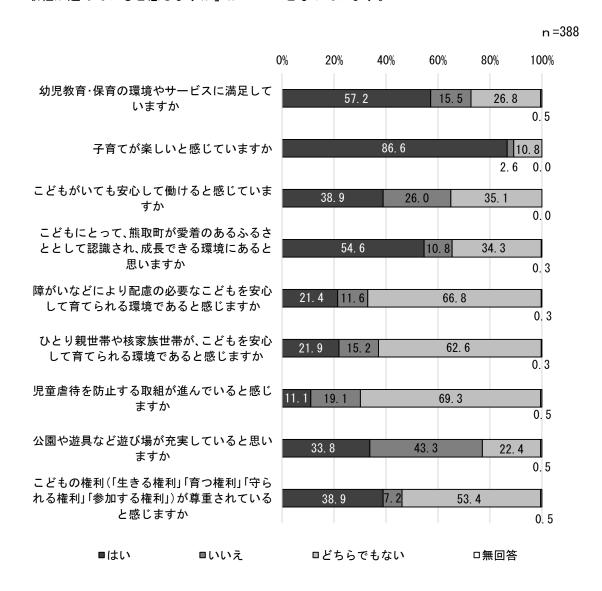
# 熊取町の子育て施策全般について

### (26) 熊取町での子育てで感じること

問 26 お子さんを本町でこれまで育ててこられた中で、子育てに関する次の点についてどのように考えますか。(それぞれの項目について、ひとつずつ〇)

熊取町での子育てで感じることは、「はい」としては、「子育てが楽しいと感じていますか」が86.6%と最も多く、次いで「幼児教育・保育の環境やサービスに満足していますか」が57.2%、「こどもにとって、熊取町が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思いますか」が54.6%となっています。

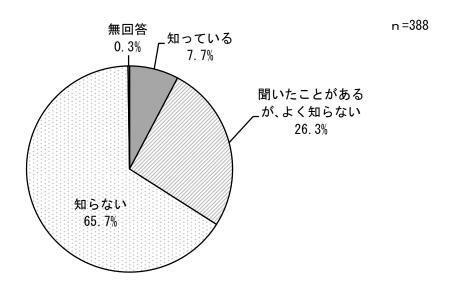
「いいえ」としては、「公園や遊具など遊び場が充実していると思いますか」が 43.3%と最も多く、次いで「こどもがいても安心して働けると感じていますか」が 26.0%、「児童虐待を防止する取組が進んでいると感じますか」が 19.1%となっています。



# (27) 「子どもの権利に関する条例」の認知度

問 27 本町では、令和4年4月に「子どもの権利に関する条例」が施行されていますが、この条例を知っていますか。(当てはまるもの1つに〇)

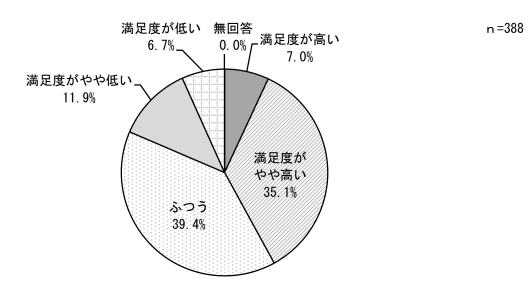
「子どもの権利に関する条例」の認知度は、「知らない」が 65.7%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が 26.3%、「知っている」が 7.7%となっています。



# (28) 熊取町の子育て環境や支援への満足度

問 28 本町の子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(当てはまるもの1つに〇)

熊取町の子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が39.4%と最も多く、次いで「満足度がやや高い」が35.1%、「満足度がやや低い」が11.9%となっています。



# (29) 子育ての環境や支援に関するご意見

問 29 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています

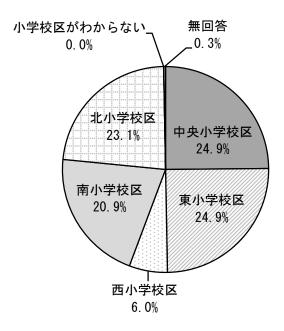
# 小学生のいる世帯の調査結果

# お住まいの地域について

# (1)居住小学校区

# 問1 お住まいの小学校区をお答えください。(当てはまるもの1つにO)

居住の小学校区は、「中央小学校区」、「東小学校区」がそれぞれ 24.9%と最も多く、次いで「北小学校区」が 23.1%となっています。



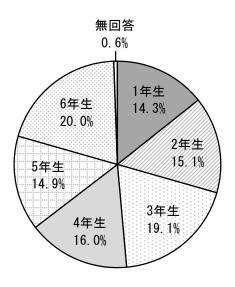
n =350

# お子さんとご家族の状況について

### (2) お子さんの学年

# 問2 宛名のお子さんの学年をお答えください。(当てはまるもの1つに〇)

こどもの学年は、「6年生」が 20.0%と最も多く、次いで「3年生」が 19.1%、「4年生」が 16.0%となっています。

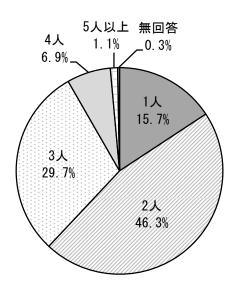


n = 350

## (3) お子さんの人数

# 問3 宛名のお子さんのきょうだいの数(宛名のお子さんを含めた人数)をお答えください。(当てはまるもの1つに〇)

こどものきょうだいの数は、「2人」が 46.3%と最も多く、次いで「3人」が 29.7%、「1人」が 15.7%となっています。

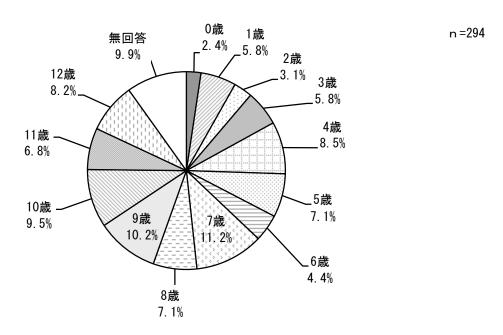


n = 350

# (3-1) 末子の年齢

問3-1 問3で「2~5」を選んだ方にうかがいます。 2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の生年月をお答えください。

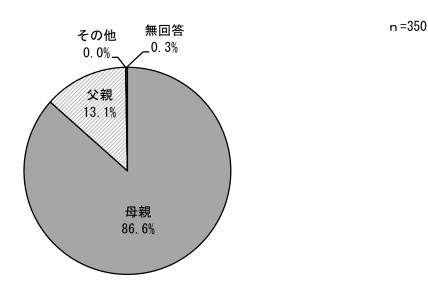
末子の年齢は、「7歳」が11.2%と最も多く、次いで「9歳」が10.2%、「10歳」が9.5%となっています。



# (4)回答者とお子さんの関係

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(当てはまるもの1つに〇)

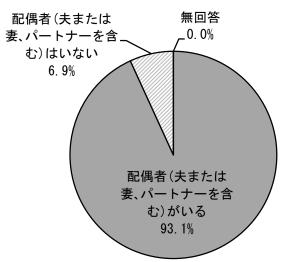
回答者は、「母親」が86.6%と最も多く、次いで「父親」13.1が%となっています。



# (5)回答者の配偶関係

この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(当てはまるもの1つに

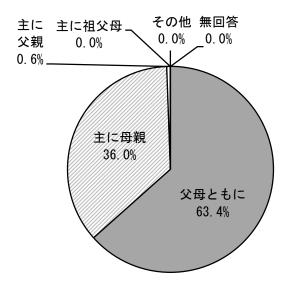
回答者の配偶関係は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)がいる」が93.1%、「配偶者 (夫または妻、パートナーを含む)はいない」が 6.9%となっています。



# (6) お子さんの子育てを主に行っている方

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(当てはま るもの1つにO)

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が63.4%と最も多く、次いで「主に母親」が 36.0%、「主に父親」が0.6%となっています。



n = 350

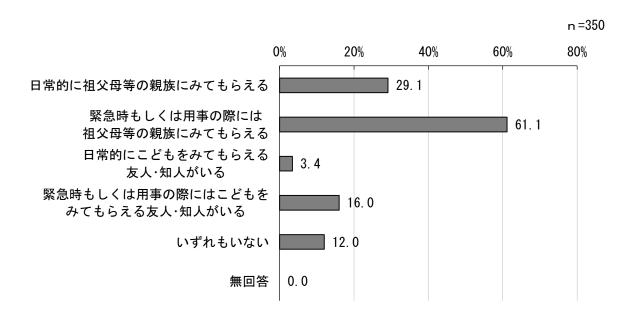
n = 350

# こどもの育ちをめぐる環境について

# (7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

# 問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてにO)

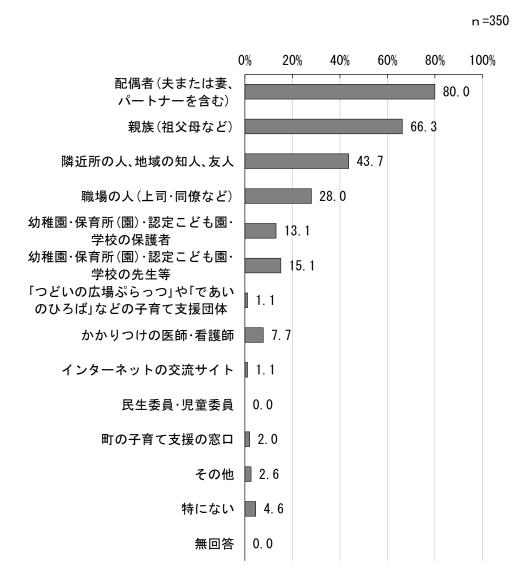
日頃、こどもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 29.1%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が 16.0%となっています。



# (8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無

問8 こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰(どこ)ですか。(当てはまるものすべてにO)

こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)」が 80.0%と最も多く、次いで「親族(祖父母など)」が 66.3%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が 43.7%となっています。



## 【その他】

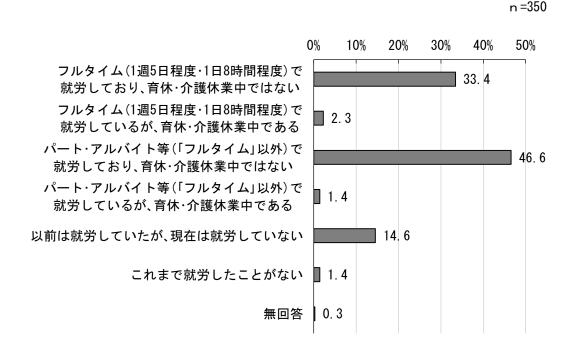
スクールカウンセラー/友人/かかりつけの病院のスタッフ/放課後等デイサービスの担当者/ (社) 実践倫理宏正会の人/昔からの友人/母親の妹/キリスト教会/学童の指導員

# 保護者の就労状況について

### (9) 母親の就労状況

問9 お子さんの母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)について、うかがいます。 (父子家庭の場合は回答不要です)(当てはまるもの1つにO)

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」が46.6%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない」が33.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.6%となっています。



## (9-1) 母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労

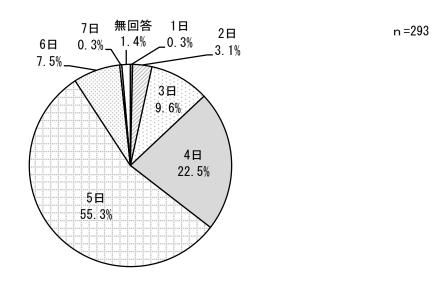
### 問9-1 問9で「1~4」を選んだ方にうかがいます。

1週あたりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、就労開始時刻と 就労終了時刻をお答えください。(()内に数字を記入)また、土曜日、日曜日・祝日 の就労がありますか。(当てはまるもの1つに〇)

- ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
- ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ※時間は、必ず(例) 18:00 のように、24 時間制でお答えください。

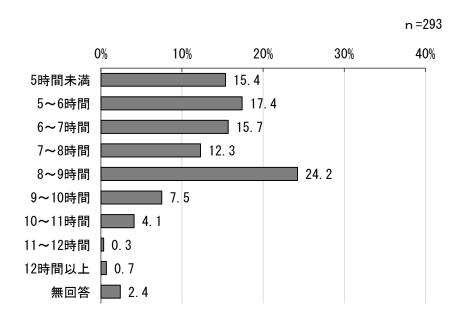
### 【母親の1週当たりの就労日数】

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が55.3%と最も多く、次いで「4日」が22.5%、「3日」が9.6%となっています。



### 【母親の1日当たりの就労時間】

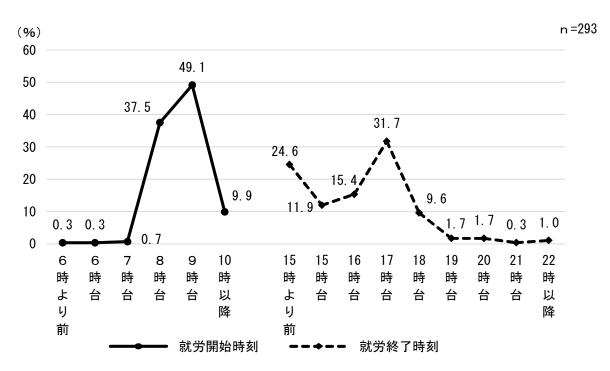
母親の1日当たりの就労時間は、「8~9時間」が24.2%と最も多く、次いで「5~6時間」が17.4%、「6~7時間」が15.7%となっています。



### 【母親の就労開始時刻と就労終了時刻】

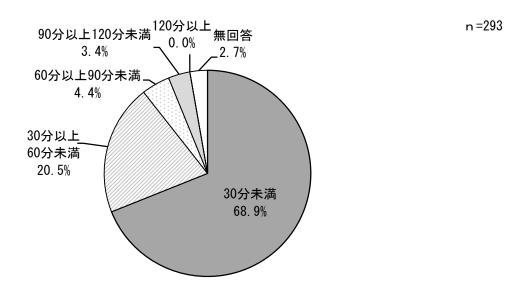
母親の就労開始時刻は、「9時台」が49.1%と最も多く、次いで「8時台」が37.5%、「10時以降」が9.9%となっています。

母親の就労終了時刻は、「17 時台」が 31.7%と最も多く、次いで「15 時より前」が 24.6%、「16 時台」が 15.4%となっています。



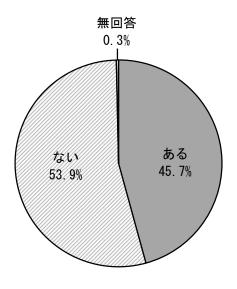
### 【母親の通勤時間】

母親の通勤時間は、「30 分未満」が 68.9%と最も多く、次いで「30 分以上 60 分未満」が 20.5%、「60 分以上 90 分未満」が 4.4%となっています。



# 【母親の土曜日の就労】

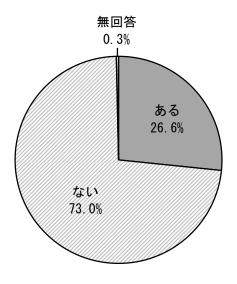
母親の土曜日の就労は、「ある」が45.7%、「ない」が53.9%となっています。



n = 293

# 【母親の日曜・祝日の就労】

母親の日曜・祝日の就労は、「ある」が26.6%、「ない」が73.0%となっています。

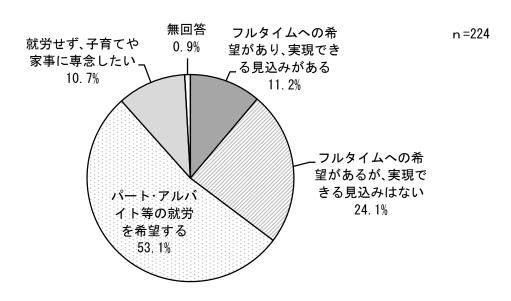


n = 293

### (9-2) フルタイムへの転換希望

問9-2 問9で「3~6」を選んだ方にうかがいます。 今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの1つに〇)

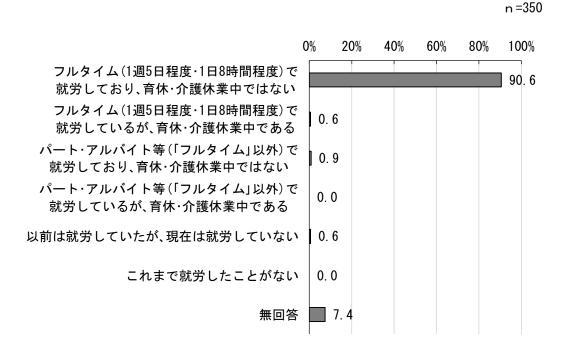
フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を希望する」が 53.1%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が 24.1%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が 11.2%となっています。



### (10) 父親の就労状況

問 10 お子さんの父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)について、うかがいま す。(母子家庭の場合は回答不要です)(当てはまるもの1つに〇)

父親の現在の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない」が90.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.9%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がそれぞれ0.6%となっています。



## (10-1) 父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労

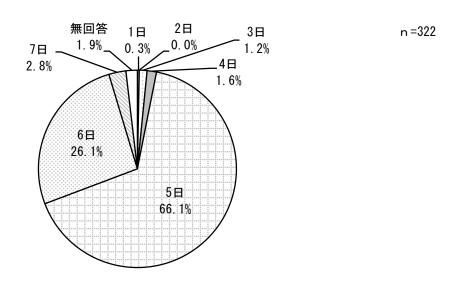
### 問 10-1 問 10 で「1~4」を選んだ方にうかがいます。

1週あたりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、就労開始時刻と 就労終了時刻をお答えください。(()内に数字を記入)また、土曜日、日曜日・祝日 の就労がありますか。(当てはまるもの1つに〇)

- ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
- ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ※時間は、必ず(例) 18:00 のように、24 時間制でお答えください。

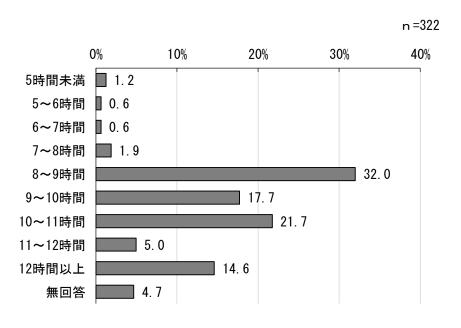
### 【父親の1週当たりの就労日数】

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が66.1%と最も多く、次いで「6日」が26.1%、「7日」が2.8%となっています。



### 【父親の1日当たりの就労時間】

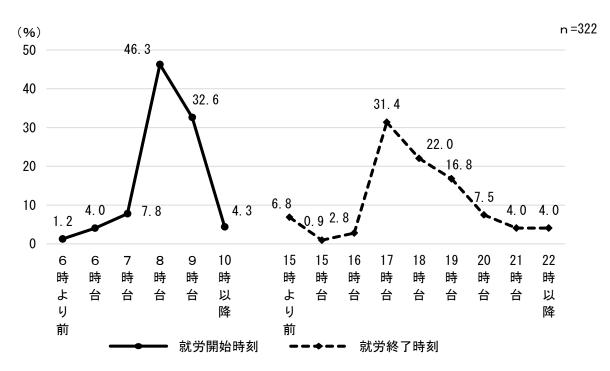
父親の1日当たりの就労時間は、「8~9時間」が32.0%と最も多く、次いで「10~11時間」が21.7%、「9~10時間」が17.7%となっています。



### 【父親の就労開始時刻と就労終了時刻】

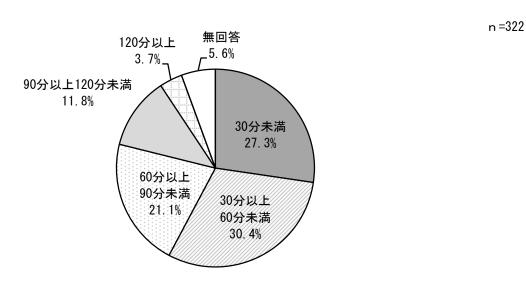
父親の就労開始時刻は、「8時台」が46.3%と最も多く、次いで「9時台」が32.6%、「7時台」が7.8%となっています。

父親の就労終了時刻は、「17 時台」が 31.4%と最も多く、次いで「18 時台」が 22.0%、「19 時台」が 16.8%となっています。



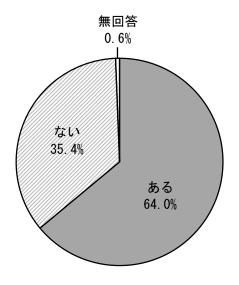
# 【父親の通勤時間】

父親の通勤時間は、「30 分以上 60 分未満」が 30.4%と最も多く、次いで「30 分未満」が 27.3%、「60 分以上 90 分未満」が 21.1%となっています。



## 【父親の土曜日の就労】

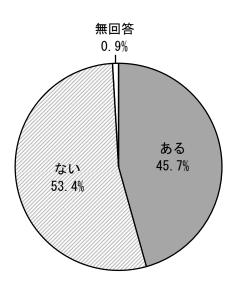
父親の土曜日の就労は、「ある」が64.0%、「ない」が35.4%となっています。



n = 322

## 【父親の日曜・祝日の就労】

父親の日曜・祝日の就労は、「ある」が45.7%、「ない」が53.4%となっています。

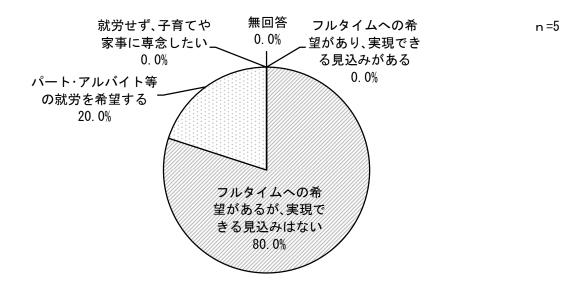


n = 322

## (10-2) フルタイムへの転換希望

問 10-2 問 10 で「3~6」を選んだ方にうかがいます。 今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの 1 つに〇)

フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が 80.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の就労を希望する」が20.0%となっています。

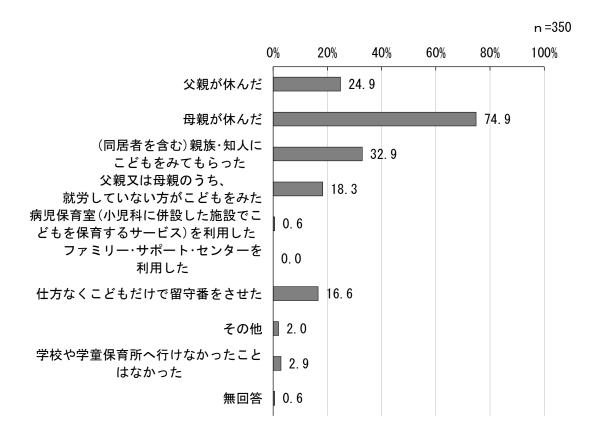


## -時預かりについて

## (11) 子どもが病気やけがをした際の対処方法

問 11 宛名のお子さんが、病気やけがで学校や学童保育所へ行けなかった時に、この 1 年間に行った対処方法についてお答えください。(当てはまるものすべてに〇)

こどもが病気やけがで学校や学童保育所へ行けなかった時に、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が74.9%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらった」が32.9%、「父親が休んだ」が24.9%となっています。



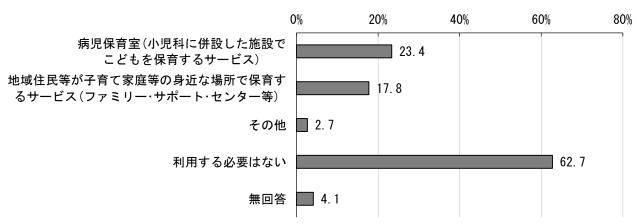
- ○職場に一緒に連れていき働いた。
- 〇母親がテレワークで対応した
- ○祖母に預けた

## (11-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向

問 11-1 問 11 で「1~8」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんが病気やけがの際、以下のいずれかのサービスを利用したいと思いま すか。(当てはまるものすべてに〇)

こどもが病気やけがをした際のサービスの利用意向は、「利用する必要はない」が 62.7%と最も多く、次いで「病児保育室(小児科に併設した施設でこどもを保育するサービス)」が 23.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス(ファミリー・サポート・センター等)」が 17.8%となっています。

n = 338

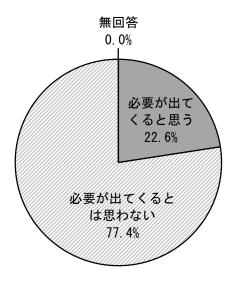


- ○手続きが面倒だと思うので、利用しようとは思わない。
- 〇不登校のためわかりません
- 〇サービスを利用するのではなく親が休める社会になってほしい。
- 〇ファミサポ等は基本的に事前予約が必要だが、病気や怪我等は事前予約が通常無理なので、事前 予約無しでもできるだけ気軽に迷惑にならずに利用できるものがあれば良い。
- 〇どうしても母親が見られないとき
- 〇金額次第
- 〇具体的な案はないが、保育や病気に関して専門的な人がいるところだと安心。

## (12) 子どもを泊りがけで預ける必要性の有無

問 12 今後、保護者の用事(冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預ける必要が出てくると思いますか。(当てはまるものすべてに〇)

こどもを泊りがけで家族以外に預ける必要性は、「必要が出てくると思う」が22.6%、「必要が出てくるとは思わない」が77.4%となっています。



n = 350

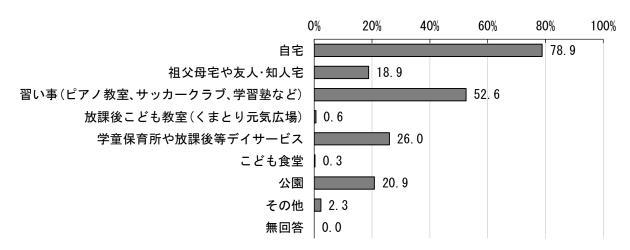
# 放課後の過ごし方について

## (13) 放課後過ごしている場所

問 13 宛名のお子さんは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(当てはまるものすべてにO)

放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごしている場所は、「自宅」が 78.9%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 52.6%、「学童保育所や放課後等ディサービス」が 26.0%となっています。

n = 350

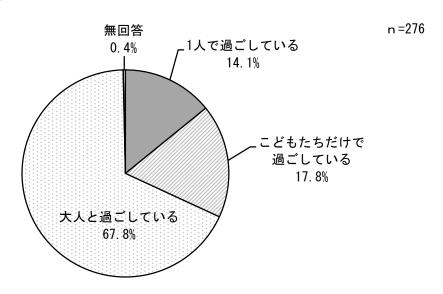


- 〇友達の家
- 〇不登校のため放課後がありません
- 〇6年度は、学童保育を外された。
- 〇近所の道路
- Oリハビリ
- ○学校に遊びにいく

## (13-1) 放課後自宅で一緒に過ごす人

問 13-1 問 13 で「1」を選んだ方にうかがいます。 宛名のお子さんは、放課後(平日の小学校終了後)の時間を自宅で過ごす際、誰と過 ごすことが多いですか。(当てはまるもの1つに〇)

放課後(平日の小学校終了後)の時間を自宅で一緒に過ごす人は、「大人と過ごしている」が67.8%と最も多く、次いで「こどもたちだけで過ごしている」が17.8%、「1人で過ごしている」が14.1%となっています。

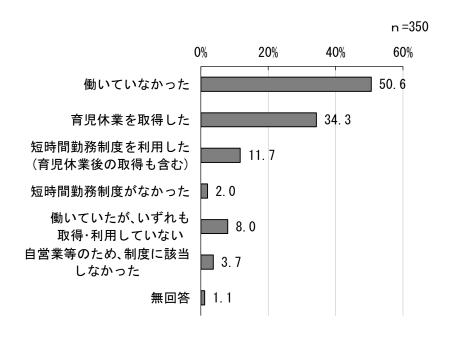


# 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について

## (14) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 14 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。 (当てはまるものすべてにO)

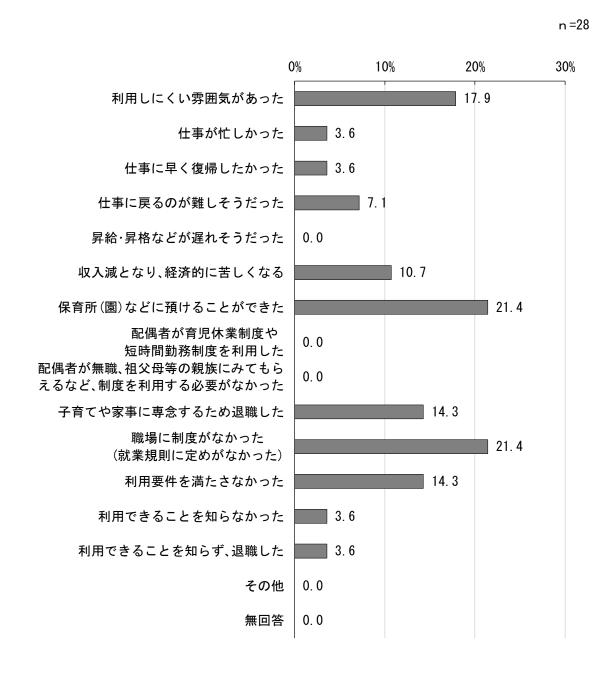
母親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「働いていなかった」が 50.6%と最も多く、次いで「育児休業を取得した」が 34.3%、「短時間勤務制度を利用した(育児休業後の取得も含む)」が 11.7%となっています。



## (14-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 14-1 問 14 で「5」を選んだ方にうかがいます。 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものす べてに〇)

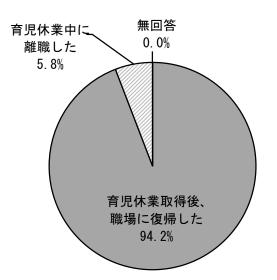
育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「保育所(園)などに預けることができた」、「職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がそれぞれ21.4%と最も多く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」が17.9%となっています。



## (14-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 14-2 問 14 で「2」を選んだ方にうかがいます。 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの 1 つに〇)

育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.2%、「育児休業中に離職した」が5.8%となっています。

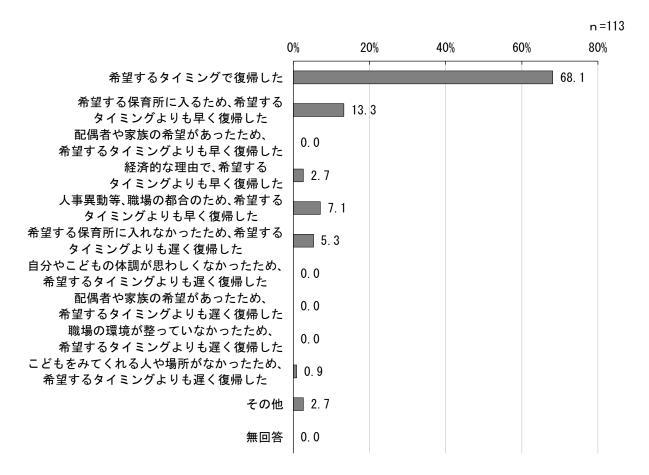


n = 120

## (14-3) 職場復帰のタイミング

問 14−3 問 14−2で「1」を選んだ方にうかがいます。 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つに○)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が68.1%と最も多く、次いで「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が13.3%、「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が7.1%となっています。

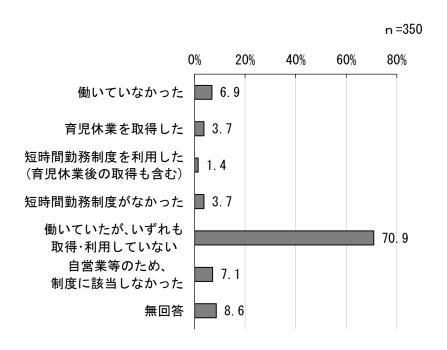


【その他】 わかりません。

# (15) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 15 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。 (当てはまるものすべてに〇)

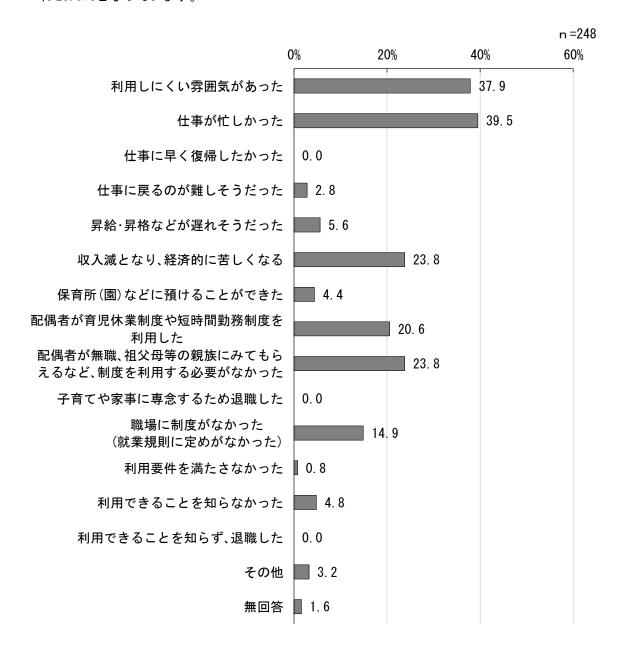
父親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が 70.9%と最も多く、次いで「自営業等のため、制度に該当しなかった」が 7.1%、「働いていなかった」が 6.9%となっています。



## (15-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 15-1 問 15 で「5」を選んだ方にうかがいます。 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものす べてに〇)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が 39.5%と最も多く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」が 37.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がそれぞれ 23.8%となっています。

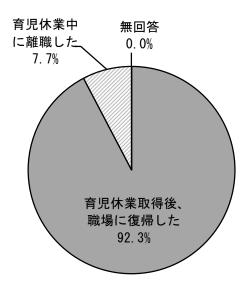


- 〇母親が希望しなかった
- 〇特に必要がなかった
- 〇本人が取得する気がなかった
- ○母親が取得するので必要ないと考えている
- 〇子育て、家事は妻に任せていたので、休業する必要はないと考えた
- ○妻から不要と言われた

## (15-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 15-2 問 15 で「2」を選んだ方にうかがいます。 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの 1 つに〇)

育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が92.3%、「育児休業中に離職した」が7.7%となっています。

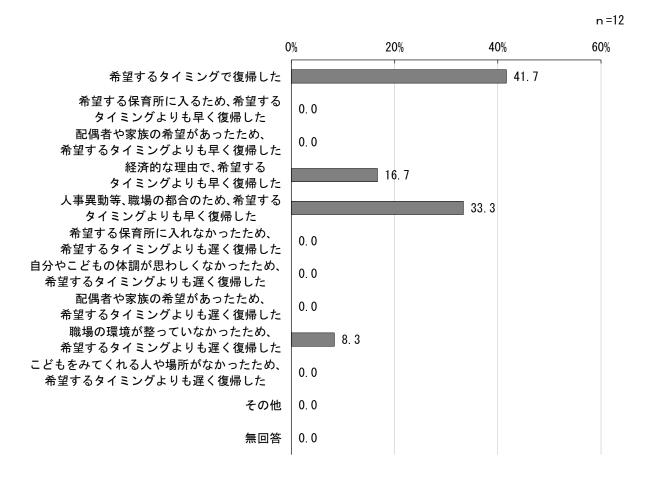


n = 13

## (15-3) 職場復帰のタイミング

問 15−3 問 15−2で「1」を選んだ方にうかがいます。 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つに○)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が41.7%と最も多く、次いで「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が33.3%、「経済的な理由で、希望するタイミングよりも早く復帰した」が16.7%となっています。



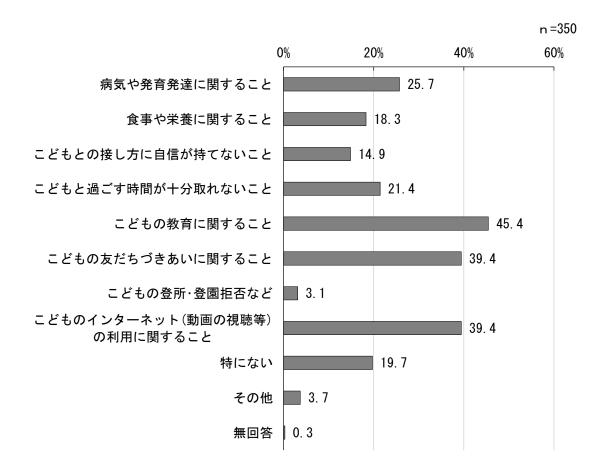
# 子育ての悩みや喜びなどについて

## (16) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること

問 16 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(当てはまるものすべてにO)

#### 【こどもに関すること】

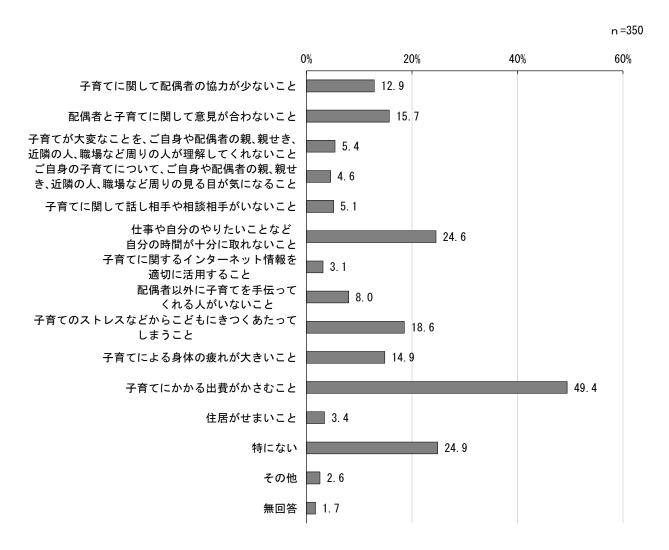
子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「こどもの教育に関すること」が45.4%と最も多く、次いで「こどもの友だちづきあいに関すること」、「こどものインターネット(動画の視聴等)の利用に関すること」がそれぞれ39.4%となっており、「特にない」は19.7%となっています。



- 〇反抗期
- ○道が狭い、きちんとした歩道がない、信号がない道が多く危ない
- 〇教育費が高い
- 〇昔に比べて騒音問題などもあり、ボール遊びも限られ、遊具がなくなり、遊び場が減らされてかわいそう。ネットでいつでも繋がれる代わりに、一人の自由な時間がとりにくくなってしまったこと等。
- ○何をするにも送り迎えなどの際の移動に時間がかかるがどうにもできない
- 〇小学校と中学校の区域
- ○盗癖、不眠など性格・精神面のケア
- 〇スマホの使用について
- 〇こどもの癇癪
- ○学童での過ごし方など
- 〇こどもへの性教育

#### 【ご自身に関すること】

子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 49.4%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が 24.6%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が 18.6%となっており、「特にない」は 24.9%となっています。

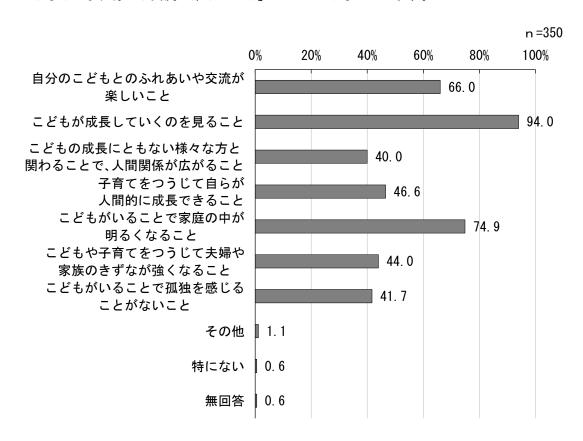


- 〇時間のやりくり。
- 〇経済的にやっていけるか不安 老後など含めて
- 〇お年寄りが多すぎる、子育て世帯がもっと増えると良いと思う、道を自転車や歩道が通れるよう 改善してほしい、信号を増やしてほしい
- 〇預け先が無くなったこと。
- 〇どれも深刻ではないですが、日々のこととして悩んだり考えたりしながら対処しています。
- ○団地なので、こどもにリコーダーの宿題とかをさせてやれない(防音対策、よろしくお願いします。)
- 〇配偶者がこどもに暴力的になること、言葉で傷つけること
- ○離婚したてでやらなければいけないことがありすぎるのに時間がないこと。
- 〇教育面で出費が高すぎること

## (17) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと

問 17 お子さんの子育てをしておられる中で、喜びを感じたことや良かったことはどのようなことですか(当てはまるものすべてに〇)

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことは、「こどもが成長していくのを見ること」が94.0%と最も多く、次いで「こどもがいることで家庭の中が明るくなること」が74.9%、「自分のこどもとのふれあいや交流が楽しいこと」が66.0%となっています。

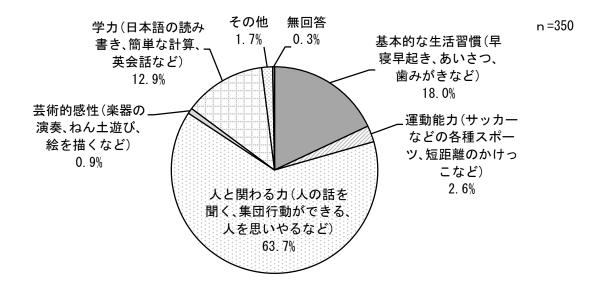


- 〇こどもの成長にともない様々な方と関わることで、視野が広まり知らなかった良い世界を知れる こと。
- 〇夫婦では行かない場所、例えば遊園地、公園、体験その他いろいろなところに行って刺激を受け られる
- 〇自治会の行事に継続的に参加していると、こどもと親しくしてくれる人(おじさんや、年配の方) が増えてきたこと
- 〇子供との時間はすべて良い。

## (18) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの

## 問 18 今、こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは何ですか(当てはまるもの1つにO)

こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは、「人と関わる力(人の話を聞く、集団行動ができる、人を思いやるなど)」が 63.7%と最も多く、次いで「基本的な生活習慣(早寝早起き、あいさつ、歯みがきなど)」が 18.0%、「学力(日本語の読み書き、簡単な計算、英会話など)」が 12.9%となっています。



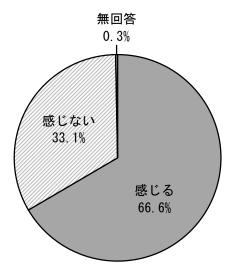
- 〇自己肯定力と自己アピールができること
- 〇生き抜く力。自己肯定感や重要感や社会貢献力の底上げ。
- 〇人間関係も含め、体験でしか学べないことはなるべく積極的にさせたい
- ○療育
- ○癇癪への対応力
- 〇選択肢の全てをこどもに対して人並みにつけて欲しいと求めてしまいます。かつ、その上で何か 突出またはこども自身が好きな物を見つけてほしいと欲張って求めてしまいます。

## (19) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 19 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(当てはまるもの 1 つに〇)感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいですか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

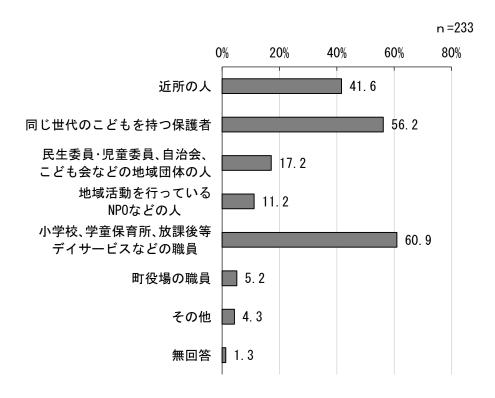
子育てが地域の人に支えられていると感じるかは、「感じる」が 66.6%、「感じない」が 33.1% となっています。

n =350



## 【特に誰から支えられていると感じるか】

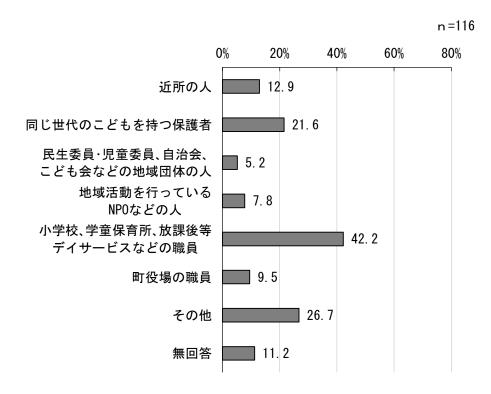
特に誰から支えられていると感じるかは、「小学校、学童保育所、放課後等デイサービスなどの職員」が 60.9%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が 56.2%、「近所の人」が 41.6%となっています。



- 〇卒園した園の先生方
- ○議員さん等も給食費無料はとてもありがたいものですし、地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです!
- 〇両親
- 〇ふれあい広場でのイベントで、団体のかたに親子ともに良くしてもらったり、保育園の信頼の置ける先生、声をかけてくれる保護者など、意外と身内より頼りにさせてもらっています。
- ○習い事で関わる方々
- ○見守り隊
- ○近居の祖父母
- 〇アトムの先生方
- ○文庫連の活動のお陰で、子どもが読書大好きな小学生に育ちました。また幼い頃は文庫連の活動に支えられ子育ての不安や葛藤を越えることができ、地域に支えられていると強く感じることができました。

## 【特に誰から支えてほしいか】

特に誰から支えてほしいかは、「小学校、学童保育所、放課後等デイサービスなどの職員」が42.2%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が21.6%、「近所の人」が12.9%となっています。



- ○役場の障害福祉課の方、もう少し困っている人耳傾けてください。
- 〇行政全体

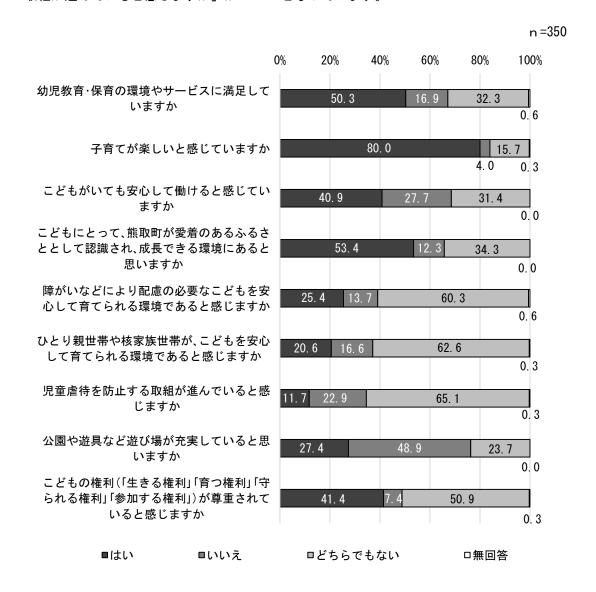
## 熊取町の子育て施策全般について

## (20) 熊取町での子育てで感じること

問 20 お子さんを本町でこれまで育ててこられた中で、子育てに関する次の点についてどのように考えますか。(それぞれの項目について、ひとつずつ〇)

熊取町での子育てで感じることは、「はい」としては、「子育てが楽しいと感じていますか」が80.0%と最も多く、次いで「こどもにとって、熊取町が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思いますか」が53.4%、「幼児教育・保育の環境やサービスに満足していますか」が50.3%となっています。

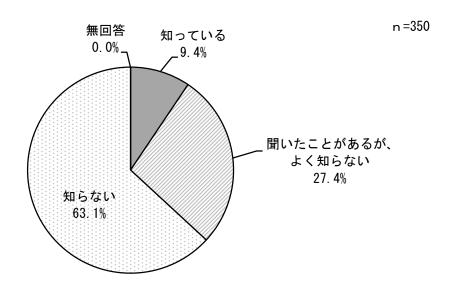
「いいえ」としては、「公園や遊具など遊び場が充実していると思いますか」が 48.9%と最も多く、次いで「こどもがいても安心して働けると感じていますか」が 27.7%、「児童虐待を防止する取組が進んでいると感じますか」が 22.9%となっています。



## (21) 「子どもの権利に関する条例」の認知度

問 21 本町では、令和4年4月に「子どもの権利に関する条例」が施行されていますが、この条例を知っていますか。(当てはまるもの1つに〇)

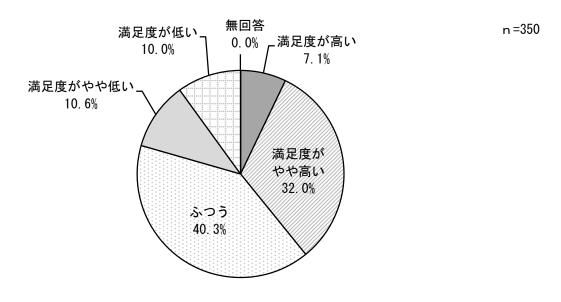
「子どもの権利に関する条例」の認知度は、「知らない」が 63.1%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が 27.4%、「知っている」が 9.4%となっています。



## (22) 熊取町の子育て環境や支援への満足度

問22 本町の子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(当てはまるもの1つに〇)

熊取町の子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が 40.3%と最も多く、次いで「満足度がや や高い」が 32.0%、「満足度がやや低い」が 10.6%となっています。



# (23) 子育ての環境や支援に関するご意見

問 23 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています

# 自由意見まとめ

# 1. 就学前児童のいる世帯の調査結果

(1)子育て環境や支援に関するご意見(回答数 150件)

問 29 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

## 経済支援

#### (保育料)

- ・第二子の保育料無償は非常に助かった。
- 第二子以降の扱いが未就学児内に限られているのを拡充して欲しい。
- 保育料も3歳になったら全保育園公平に無料にして欲しい。
- 保育料が高い。
- O歳児から保育料無料にして欲しい。

#### (給食費無償化)

- ・副食費の援助はとても助かった。
- ・保育所や学校の給食費無償化は、子育てのまちと謳うなら必須であると思う。
- ・給食費免除を継続してほしい。

#### (インフルエンザ費助成)

- ・インフルエンザ予防接種助成で高齢者は 1000 円だったのにこどもは 3000 円×2 回なのがおかしいと思う。
- ・インフルエンザの予防接種に補助が欲しい。

#### (その他)

- ・低所得者世帯などへの支援ばかりで、普通に所得がある人に対しては優しくない。
- ・就学時の給付金など、ギリギリ制度が受けれない収入所得者からするとかなりつらい。
- ・就学時の給付金は一律に与えて欲しい。
- ・低所得世帯だけでなく、全世帯に習い事にかかる費用の助成や、給食費の無料化などはすぐに行ってほしい。
- ・保育料、学校給食費、こどもの医療費は最低限無償化して欲しい。
- ・隣の市のように、ゴミ袋は自治体加入で無料、インフルエンザワクチン補助金など、子育てに力 を入れていると認識されるために予算を増やしてほしい。
- ・こどもに対しての手当、こどもがいる家庭への手当てなどは、他の市と比べてもあまり変わらないと感じた。
- ・こどもに対しての助成金や対策がとても遅い。
- ・双子や三つ子はさらに出費が重なるのでかなり辛い
- ・双子や三つ子の場合などの給付援助や少しの考慮などを考えていただけたら嬉しい。
- ・オムツやお尻拭き、ミルクなど消耗品でかつ実用性の高いものは現物で定期的にもらえるととても助かる。
- ・他の市が実施しているような助成制度も検討していただけると嬉しい。
- ・大学の学費支援があると嬉しい。

## 保育

- ・保育園の入園が難しい。
- ・こどもを預けるためには仕事をしていなければならないが、仕事ではこどもを預けてからにして くれと言われ、自治体の支援が無ければ仕事につくことができない。
- ・就職が決まったのにも関わらず保育園の空きがなく就労できない。
- ・仕事をしているので保育園に入れようか迷ったがやはり費用を考えると仕事をする意味がないな と感じ入れることを躊躇っている。
- ・待機児童ゼロを再度実施して欲しい。
- ・保育所の荷物を少なくしてほしい。
- ・お昼寝布団を持って行って、持ち帰るのが想像以上に大変なので(特に雨の日など)早くレンタル制度が整ってほしい。
- ・お盆休みに保育所の給食がなくなるはやめてほしい。
- 給食がない夏の暑い日に、朝7時にお弁当を預けて腐らず大丈夫か心配。
- ・土曜日など、時間単位でこどもを安心して預けれる場所があると助かる。
- ・保育所も平日は、確実に預かってもらえるようにしてほしい。

## 病児保育

- ・熊取町独自の病児保育施設がない。
- ・病児保育の場所を保育園内の空き教室、ファミリーサポートセンター、公共施設等、場所を工夫 して作ってほしい。
- ・働くために病児保育料3000円払って預けるのもなんのために働くのかなと感じる。

## 一時預かり

- ・ファミリーサポートに少し不安があるのと、緊急時に対応いただけないので、保育園のような所に急な時でも預けられるとすごく助かる。
- ・仕事を休めない環境だった時に一時預かりしてくれる制度、サポートがあると助かる。

#### 公園

- 子育て支援をうたっているが、公園が少なすぎる。
- ・近場に広い綺麗な公園が少ないと感じる。
- ・公園の数や整備を充実させてほしい。
- ・煉瓦館や役場といった周りが開けた人通りの多い場所に、滑り台などの遊具を設置していただけると嬉しい。
- ・ちびっこ広場のグランドの整備や、駅周辺に公園があればより活気着くと思う。
- ・散歩、遊ばせやすい公園や、こどもの物等買えるモールが近くにあればもっと子育てがしやすいのになと感じている。
- ・唯一ある公園は草が生い茂り遊べずこどもがかわいそう。
- ・遊具など綺麗にしてほしい。

## 道路

- ・歩道もない狭い道が多く、こどもを連れて歩くには危険だと感じる。
- ・デコボコしていたり、電柱が出ていたり、歩道が狭くてベビーカーを押すには危ない道が多すぎる。
- ・通学路も狭いし、中学生の登校時間と重なり自転車も多く危なく感じる。
- ・車が真横を走り歩道が整備されていなかったりフェンスやガードがなかったり、歩行者ラインが あっても狭かったり、安全面が気になる。
- ・歩道の手すりをつけて、車からこどもを守って欲しい。
- ・側溝や排水溝なども蓋がなく、雨や災害時にも気になる。
- ・熊取駅前ロータリー周辺をベビーカーで歩いた際に段差が多くて、遠回りせざるを得ない。

#### 社会基盤

- ・産婦人科、婦人科、小児科、耳鼻科が少なすぎて、泉佐野や貝塚まででないと対応できないときがあり困る。
- ・団地やアパートを東小校区にも建設して欲しい。
- ・本屋さんやあかちゃんほんぽ等子育て世帯向けのお店の誘致を行って頂きたい。

## 子育て支援環境や設備

- ・ぷらっつや保育園の園庭開放が自由に、行きたい時に参加出来るのはありがたい。
- 午前中は保育園等の園庭開放などはあるが、午後から利用できる子育て支援施設が少ない。
- 屋内の安全な遊び場がもっとあれば利用したい。
- 子育て支援センターの数が少なすぎる。
- ・子育て支援の教室を充実させてほしい。
- ・土日に保育園や幼稚園や小学校などでこども食堂やイベントをもっと企画してほしい。
- ・ママが仕事から帰ってきて家事に注がなければならない時間をたすけてくださるとありがたい。
- ・子育て中のママが働きやすくなる環境、支援があればいいなと思う。
- 子育てサークルが一つもないのは寂しいと思う。
- ・煉瓦館の絵本コーナーがもう少し増えたら嬉しい。

## 保育士の待遇改善

- ・子育て支援の事業でなにか計画をするのであれば、保育士さんたちの就労環境が悪くならないよう、より良くなるようなことも考えてほしい。
- ・こども園も 18 時くらいで閉まるようにして保育士も我が子と過ごす時間が増えたらいいのにと思う。
- ・保育士をもっと雇って欲しい。

## 安心・安全

- ・登下校時に道路の見守りボランティアがいるのは安心できる。
- ・街灯、防犯カメラを増やしてほしい。
- ・不審者や環境面の安全性が担保されておらず気になる。
- ・刺すような炎天下の中、帽子、日傘なく歩く姿を見かけると大変心配になる。

## 周知

- ・複数の小さなこどもを連れて役場に足を運ぶのは大変な部分もあるので、HP などでもっと情報を 得やすいと大変助かる。
- ・学童の時間や料金の詳細が分からない。

#### その他

- ・福祉子育てに手厚い政策が良いと感じてこの町に定住を決めた。
- ・自治会が古い制度のままで、小さいこどもを持つ共働き世帯に配慮が少なすぎると感じる。
- ・育休中に学童を少しでも入られる制度がほしい。
- ・小学校の給食を国産にこだわる、添加物を使用しない、小麦牛乳は減らすなどこどもたちの食に 少しお金をかけてこだわってほしい。
- ・小学生の放課後の時間を充実したものにできる工夫をしてもらいたい。
- ・小さい子も田植えや稲刈り体験とか、虫採りとか、川遊びが気軽にできる場所なんかがあったら 嬉しい。
- ・地域のサロンなど、赤ちゃんから高齢者まで集まれるような場が必要だと思う。
- ・ゴミ捨ての時間が早い。

# 2. 小学生のいる世帯の調査結果

(1) 子育て環境や支援に関するご意見(回答数 126件)

問 23 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

## 経済支援

#### (給食費無償化)

- 給食費無料がすごくありがたいので、引き続き検討してほしい。
- ・給食費の無償を延長して欲しい。
- ・給食の無償化は、給付金や現物支給よりもダイレクトに助かるので、継続してほしい。
- ・小、中学校の給食費を期間限定の無償ではなく、完全無償化にするべきだと思う。

#### (保育料・学童費用)

- ・3 人目の保育料無償化を制限なくしてほしい。3 人いても年齢差があるので無償化の対象にならない。
- ・3歳児までの保育料を無料にしてもらいたい。
- ・保育園や学童にかかる費用を低くして欲しい。
- ・2人目、3人目…は上の子が成人するまでは3人目として扱ってほしい。
- •0~2歳児も保育料を無料化又は、半額などに変えて欲しい。
- ・学童も無償化で誰でも利用できる様にしてもらえると、大変助かる。

#### (その他)

- ・低所得に関係なく子育て世帯にも給付金がほしい。
- ・5 つの無料化(明石市を参考) また多子家族へのサポートを増やして、より多くのこどもを産んで育てることができる町にしてほしい。
- ・大阪市内のように塾助成などの支援が欲しい。
- ・熊取の地域振興券も、制服等地元のお店で消費しやすい時期がずれていたのが残念。

## 学童

- ・学童保育所の受入れ人数を増やして欲しい。
- ・小学生になった途端に学童等が足りてない。
- ・学童施設をもっと増やした方がいいと思う。
- ・長期休暇中の学童保育について、希望者が皆入所出来るようにしてほしい。
- ・長期休暇枠の受け入れを増やして、高学年は長期休暇だけの利用でもよいのでは
- ・仕事を休まなくてはならない時に単発で預けられるようになるととても助かる。

#### 公園・遊び場

- ・近所に公園が無い。
- ・下校した後の遊び場が少なく困る。
- ・夢の森公園にあるような低年齢児向けの遊具を町内の小さな公園にも配置することを検討していただきたい。
- ・小学校の校庭やひまわりドームなどこども達に開放してほしい。
- ・小学校なり他の施設なりの涼しい場所でこどもの居場所があれば嬉しい。
- ・ボール遊びが禁止されており、学校から帰ってきて友達とのびのび遊べる場所がなく困っている。
- ・放課後や休みの日に安心して遊べる場所があると嬉しい。

## 道路・登下校の安全

- ・歩道が少なく道が狭い所が多く危ない場所が多い。
- ・こどもたちの通学路が狭く、車やバイクと接触するのではないかと思う。
- ・交通量が多い割に歩道や横断歩道が少ない。
- ・自転車と歩道を自動車の道と分け、安心して通園できればもっとよくなる。
- ・自転車用レーンの設置や道幅拡張など、安全な環境を整えてほしい。
- ・こどもがよく通る道には信号がなく、見通しも悪い。
- ・こどもが自転車で走るには狭い道路が多いので整備して欲しい。
- ・小学生の帰りの見守り隊が少ない。

#### 教育環境の改善

- ・担任の先生1人では大変そうなので、サポートの先生をもう1人配置していただけると有り難い。
- 1クラスの人数が多く教室が凄く狭い。
- 学校給食の量が少ないのではと思う。
- ・小中学の体育館の空調設備を早く整えていただきたい。
- ・学校の建物や設備が古くて不便に感じる場面も多いらしいので、出来るだけ改善してあげて欲しい。
- とにかくクラスが荒れていて、勉強できる雰囲気ではない。
- ・小さくても良いので図書館が複数欲しい。

## 不登校児への支援

- ・不登校児を受け入れる(通える)場所があればと切に願う。
- ・不登校のこどもにもっと居場所を作ってほしい。
- ・地域の人や、同じ境遇のこどもたちと触れ合えるような施設を作ってほしい。
- ・不登校児への支援やケアをお願いしたい。
- ・ (不登校児の) 家庭にもっと聞き取りをしてほしい。
- ・ (不登校のため) 仕事をしたくても出来ず、学校で学ぶ分を補う為の支出がかなりあり、これからの生活が不安。

## 障がい福祉サービス

- ・病気や障害を持つこどもの家庭に、もっと便利なサービスがあればと思う。
- ・障がい福祉制度について職員間で理解の差があるのではと感じた。

#### 介護と子育ての両立

- ・今後は子育てに加えて介護が必要となったとき、生活が立ち行かなくなる不安がある。
- ・介護離職やヤングケアラーといった状態に陥らないか気になってしまう。

## その他

- ・いかに子育て世帯を呼び込めるか、予算と施策を見直して頂きたい。
- ・条例や権利、サービスなど、知る機会はどこで設けられてきたのか。

# 「(仮称) 熊取町こども計画」 策定のためのニーズ調査 報告書

発行年月:令和6年3月

編集・発行:熊取町 健康福祉部 子育て支援課

住 所: 〒590-0495

大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番1号

電 話:072-452-6814